

5

BIOS セットアップについて

本章では、BIOS セットアッププログラムの使い方と機能について説明します。BIOS セットアッププログラムを使って、パソコン本体のシステム構成の設定や、パスワードの登録 / 削除などができます。

1	BIOS セットアップとは.....	138
2	Main メニューの詳細	142
3	Advanced メニューの詳細	144
4	Security メニューの詳細	151
5	Power メニューの詳細	153
6	Boot メニューの詳細	155
7	Exit メニューの詳細	157
8	工場出荷時の既定値	159

① BIOS セットアップとは

BIOS セットアップとは、パスワードやハードディスク、周辺機器の使い方などを本体に設定するプログラムのことです。

BIOS セットアップで設定された情報は、CMOS-RAM と呼ばれる特殊なメモリに保存され、電源を切っても設定した内容が消失しないように内蔵バッテリーで保持されます。メモリの増設やハードディスク装置の増設等の変更をしない限り、1 度 BIOS セットアップを行えば以降は必要ありません。ただし、内蔵バッテリーが消耗または電池交換を行なった場合は、BIOS セットアップは既定値に戻りますので、設定した内容はメモをとるなどして忘れないようにしてください。



・BIOS セットアップ画面は英語表示のみです。日本語での、項目 / 説明の表示はありません。

メモ

① BIOS セットアップの起動方法

1 電源を入れた直後（起動時）に[F2]キーを押す

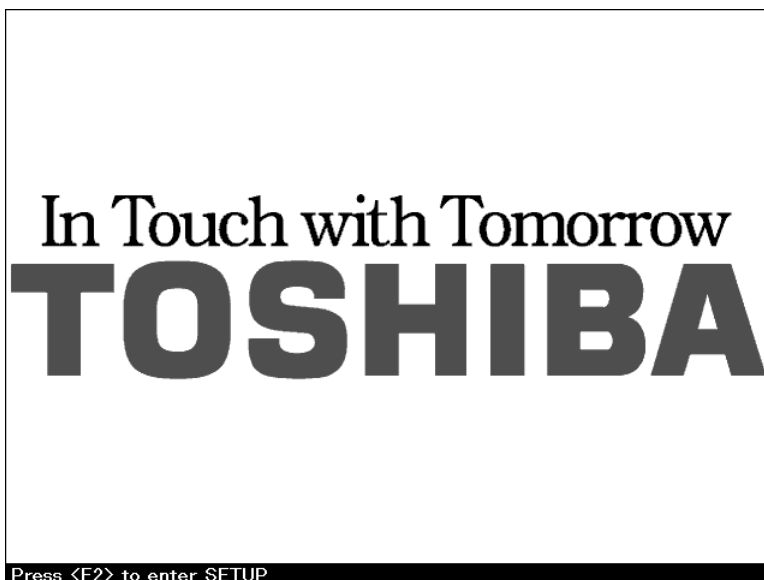
起動時に、次の「In Touch with Tomorrow TOSHIBA」画面が画面右上に表示されます。目安として、この画面表示中に[F2]キーを押します。



お願い

・[F2]キーの入力が受け付けられるのは、パソコンの電源を入れてから 10 数秒間です。この時間内に[F2]キーを押さないと、システムが起動します。

BIOS セットアップが起動できなかった場合は、システムを再起動し、手順 1 をやり直してください。



(注) 画面は一例です。

2 BIOS セットアップの操作方法

● BIOS セットアップ画面について

メニューバー
現在開いているメニューは
青文字で表示されます。
メニューを移動するには
[] キーを押します。

選択している項目は
白文字で表示されます。

の付いている項目は、
サブメニューがあることを
示します。
サブメニューを表示するには
[Enter] キーを押します。
サブメニューから1つ前のメ
ニューに戻すには [Esc] キー
を押します。

選択している項目の
説明が表示されます。

[] で囲まれている項目は、設定値を変更
することができます。ただし、灰色に表示さ
れている項目は、変更できない状態です。

● 使用するキーについて

BIOS セットアップでは、マウスが使用できないため、キーボード上のキーで、メニューや項目の移動、値の入力などを行います。

ここでは、BIOS セットアップで主に使用するキーについて説明します。

[F1]、[Alt] + [H] キー

BIOS セットアップの説明と操作方法 ([General Help]) を表示します。

画面上下の、表示されていない部分を見るには、[PageUp]、[PageDown] キーを使います。

[General Help] を閉じるには、もう1度 [F1] キーまたは [Alt] + [H] キーを押します。

[] キー

1 つ前の項目に移動します。

[] キー

1 つ先の項目に移動します。

[] キー

1 つ前のメニューを表示します。

[] キー

1 つ先のメニューを表示します。

[Home]、[PageUp] キー

メニューの最初の項目に移動します。

End、PageDownキー

メニューの最後の項目に移動します。

F5、-キー

1つ前の項目に移動したり、選択している設定を1つ戻します。

F6、Space、+キー

1つ先の項目に移動したり、選択している設定を1つ進めます。

Enterキー

サブメニューや設定値の一覧を表示したり、設定値の選択をします。

F9キー

BIOS セットアップの全項目を、既定値に戻します（パスワードを除く）。

F9キーを押すと、「Load default configuration now?」というメッセージが表示されます。既定値に戻す場合は、[Yes] を、戻さないでセットアップを続ける場合は [No] を選択します。



お願い

- ・工場出荷時の設定は既定値と次の点で異なります。工場出荷時の状態に戻す場合は、1度、F9キーで既定値に戻し、工場出荷時の設定値に変更してから保存してください。
 - ・[Main]メニューの [Processor Serial Number] の設定
既定値 : [Enabled] 工場出荷時 : [Disabled]
 - ・[Main]メニューの [ECC Configuration] の設定
既定値 : [Non-ECC] 工場出荷時 : [ECC]
 - ・[Advanced]メニューの [Plug & Play O/S] の設定
既定値 : [No] Windows NT モデルのみ工場出荷時 : [No]
(Windows 98 / 95 モデルの工場出荷時は [Yes] です。)
 - ・[Advanced]メニューの [Num Lock] の設定
既定値 : [Auto] 工場出荷時 : [On]
 - ・[Advanced]メニューの [Peripheral Configuration] の [Parallel Port] の [Mode] の設定
既定値 : [Bi-directional] 工場出荷時 : [ECP]
 - ・[Advanced]メニューの [Peripheral Configuration] の [Audio] の設定
既定値 : [Enabled] 工場出荷時 : [Disabled]
 - ・[Power]メニューの [Inactivity Timer] の設定
既定値 : [Off] Windows 98 / 95 モデルのみ工場出荷時 : [20minutes]
(Windows NT モデルの工場出荷時は [Off] です。)
 - ・[Power]メニューの [Hard Drive] の設定
既定値 : [Enabled] Windows NT モデルの工場出荷時 : [Disabled]
 - ・[Power]メニューの [VESA Video Power Down] の設定
既定値 : [Standby] Windows NT モデルの工場出荷時 : [Disabled]
(Windows 98 / 95 モデルの工場出荷時は [Sleep] です。)
 - ・[Boot]メニューの [On Modem Ring] の設定
既定値 : [Power On] 工場出荷時 : [Stay Off]
 - ・[Boot]メニューの [On LAN] の設定
既定値 : [Power On] 工場出荷時 : [Stay Off]
- ☞ 工場出荷時の設定値について ☞ 「本章 8 工場出荷時の設定値」

F10 キー

現在の設定を保存し（CMOS-RAMに書き込み）BIOS セットアップを終了して、システムを起動します。

F10 キーを押すと「Save configuration changes and exit now?」というメッセージが表示されます。設定を保存して終了する場合は [Yes] を、保存しないでセットアップを続ける場合は [No] を選択します。

Esc キー

[Exit] メニューを表示します。サブメニュー中では、1 つ前の状態に戻したり、1 つ前の画面を表示します。

③ BIOS セットアップの内容

BIOS セットアップには次の 6 つのメニューがあります。

Main メニュー

日時や起動時の HDD、FDD、キャッシュなどを設定します。

Advanced メニュー

I/O ポートやメモリサイズと拡張機能について設定します。

Security メニュー

特定の人だけが本装置を操作するためのパスワードを設定します。

Power メニュー

省電力モード中の状態などを設定します。

Boot メニュー

パソコンの電源を入れたときに、システムを起動する装置を設定します。

Exit メニュー

BIOS セットアップを終了します。

なお、BIOS セットアップの内容は出荷時期により多少異なる場合があります。

2

Main メニューの詳細

BIOS セットアップが起動するとまず、メインメニューが表示されます。メインメニューでは日時の設定、フロッピーディスク装置、ハードディスク装置の設定などを行います。

BIOS Setup Utility		
Main	Advanced	Security Power Boot Exit
BIOS Version:	XXXXXXXX.XXX.XXX.XXX	Item Specific Help
Processor Type	Pentium	Select the display language for the BIOS.
Processor Speed	XXX MHz	
Cache RAM	XXX MB	
System Memory	XX MB	
Memory Bank 0	XX MB SDRAM	
Memory Bank 1	Not Installed	
Memory Bank 2	Not Installed	
Language:	[English (US)]	
Processor Serial Number	[Disabled]	
ECC Configuration	[ECC]	
L2 Cache ECC Support	[Enabled]	
System Time:	[XX:XX:XX]	
System Date:	[XX/XX/XXXX]	
F1 Help	Select Item -/+	Change Values F9 Setup Defaults
ESC Exit	Select Menu Enter	Select Sub-Menu F10 Save and Exit

(注) 画面は一例です。

BIOS Version

この BIOS のバージョン情報を表示します。

Processor Type

CPU のタイプを表示します。

Processor Speed

CPU の動作周波数を表示します。

Cache RAM

2 次キャッシュメモリの容量を表示します。

System Memory

システムメモリの容量を表示します。

Memory Bank0 ~ 2

メモリソケットの各バンクに取り付けられているメモリの種類を表示します。取り付けられていない場合は [Not Installed] と表示します。

Language

BIOS セットアップ内で表示される言語を設定します。

[English(US)][Francais][Italiano][Deutsch][Espanol] の中から選びます。



メモ

- ・本書では [English (US)] の説明です。

Processor Serial Number

Processor Serial Number を使用するかどうかを設定します。

- ・ Enabled Processor Serial Number を使用する
- ・ Disabled Processor Serial Number を使用しない



お願い

- ・工場出荷時には [Disabled] に設定されています。[F9] キーを押して、既定値に戻した場合、[Enabled] に設定されますので、[Disabled] に設定し直してください。

ECC Configuration

メモリのエラーチェックを行うかどうかを設定します。

- ・ Non-ECC ECC (Error Correcting Code) を使用しない
- ・ ECC ECC (Error Correcting Code) モードでエラーチェックを行う



お願い

- ・工場出荷時は [ECC] に設定されています。[F9] キーを押して、既定値に戻した場合、[Non-ECC] に設定されますので、[ECC] に設定し直してください。

L2 Cache ECC Support

2 次キャッシュのエラーチェックを行うかどうかを設定します。

- ・ Enabled ECC を使用する
- ・ Disabled ECC を使用しない

System Time

時刻 (24 時間単位) を設定します。

[時 : 分 : 秒] の項目移動には、[Enter] キーまたは [Tab] キーを使います。

System Date

年 (西暦) 月日を設定します。

[月 / 日 / 年] の項目移動には、[Enter] キーまたは [Tab] キーを使います。

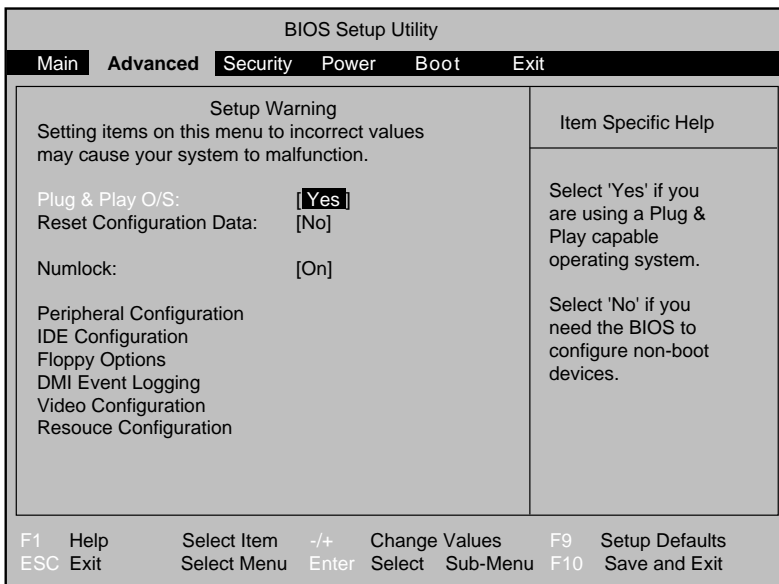
アドバンスドメニューでは本体のハードウェア関連の設定を行います。主にオプションカード、増設装置を取り付けた場合の本体のハードウェア設定に利用します。



お願い

- ・不用意に設定の変更を行うと動作がおかしくなる可能性があります。
- ・設定が原因で動作がおかしくなったと思われる場合は、工場出荷時の設定値に戻してやり直してください。

☞ 「本章 8 工場出荷時の設定値」



(注) 画面は一例です。

Plug & Play O/S

Windows 98 / 95 のような、プラグアンドプレイ対応のシステムを使用するかどうかを設定します。Windows NT 4.0 はプラグアンドプレイに対応していません。



お願い

- ・工場出荷時には、Windows 98 / 95 モデルは [Yes] に、Windows NT モデルは [No] に設定されています。[F9] キーを押して、既定値に戻した場合、Windows 98 / 95 / NT モデルとも、[No] に設定されます。Windows 98 / 95 をご使用の方は、[Yes] に設定し直してください。

- ・ No Plug & Play O/S を使用しない (Windows NT)
- ・ Yes Plug & Play O/S を使用する (Windows 98 / 95)

Reset Configuration Data

System Configuration Data を起動時にリセットするかどうかを設定します。

- ・ No リセットしない
- ・ Yes リセットする



メモ

- ・ BIOS のアップデートを行なった場合は、[Yes] を選択して、再起動してください。

Numlock

電源 ON 時に、キーボードのテンキーが使用できる (NumLock キーを押した) 状態にするかどうかを設定します。



メモ

- ・ [NumLock] ON のときは、キーボードの [NumLock] ランプが点灯します。
[NumLock] OFF のときは、ランプが消灯します。
- ・ Auto NumLock キーのあるキーボードが接続されたことを自動検知し、NumLock 状態にする
- ・ On NumLock 状態にする
- ・ Off NumLock 状態にしない



お願い

- ・ 工場出荷時は [On] に設定されています。 [F9] キーを押して、既定値に戻した場合、 [Auto] に設定されますので、 [On] に設定し直してください。

Peripheral Configuration

周辺機器に関する設定を行います。

Serial Port A

シリアルポート A の設定をします。

- ・ Disabled 使用しない
- ・ Enabled 使用する
- ・ Auto 自動検出

BASE I/O address

[Serial Port A:] で [Enabled] を選択すると表示されます。アドレスを設定します。

- ・ 3F8/2F8/3E8/2E8

Interrupt

[Serial Port A:] で [Enabled] を選択すると表示されます。IRQ (割り込み) を設定します。

- ・ IRQ3/IRQ4

Serial Port B

シリアルポート B の設定をします。

- ・ Disabled 使用しない
- ・ Enabled 使用する
- ・ Auto 自動検出

Mode

[Serial Port B:] で [Auto] または [Enabled] を選択すると表示されます。

- ・ Normal 通常のシリアルコネクタとして使用する
- ・ IrDA IrDA 方式の赤外線ポートとして使用する
- ・ ASK-IR ASK 方式の赤外線ポートとして使用する

BASE I/O address

[Serial Port B:] で [Enabled] を選択すると表示されます。アドレスを設定します。

- ・ 3F8/2F8/3E8/2E8

Interrupt

[Serial Port B:] で [Enabled] を選択すると表示されます。IRQ (割り込み) を設定します。

- ・ IRQ3/IRQ4

Parallel Port

パラレルポートの設定をします。

- ・ Disabled 使用しない
- ・ Enabled 使用する
- ・ Auto 自動検出

Mode

[Parallel Port] で [Auto] または [Enabled] を選択すると表示されます。

- ・ Output only 出力専用モードを使用する周辺機器を使用する
- ・ Bi-directional 双方向モードを使用する周辺機器を使用する
- ・ EPP EPP 規格の周辺機器を使用する
- ・ ECP ECP 規格の周辺機器を使用する



お願い

・工場出荷時には、[ECP] に設定されています。[F9] キーを押して、既定値に戻した場合、[Bi-directional] に設定されますので、[ECP] に設定し直してください。

BASE I/O address

[Parallel Port] で [Enabled] を選択すると表示されます。アドレスを設定します。

- ・ 378/278/228

Interrupt

[Parallel Port] で [Enabled] を選択すると表示されます。IRQ (割り込み) を設定します。

- ・ IRQ5/IRQ7

DMA channel

[Parallel Port] で [Enabled] を選択し、[Mode] で [ECP] を選択すると表示されます。DMA のチャンネルを設定します。

- ・ DMA1/DMA3

Audio

本装置ではこの項目は使用しません。

常に [Disabled] に設定してご使用ください。

- ・ Disabled 使用しない
- ・ Enabled 使用する



お願い

・工場出荷時には、[Disabled] に設定されています。[F9] キーを押して、既定値に戻した場合、[Enabled] に設定されますので、[Disabled] に設定し直してください。

LAN

LANを使用するかどうかを設定します。

- ・ Disabled 使用しない
- ・ Enabled 使用する

Legacy USB Support

USB キーボードをサポートするかどうかを設定します。



メモ

・ Windows NT 上では、USB を使用することはできません。

- ・ Disabled サポートしない
- ・ Enabled サポートする

IDE Configuration

IDE インタフェース上の装置を設定します。

IDE controller

IDE インタフェースに関する設定を行います。

- ・ Disabled 使用しない
- ・ Primary プライマリのみ使用する
- ・ Scondary セカンダリのみ使用する
- ・ Both 両方を使用する

Hard Disk Pre-Delay

ハードディスク装置が起動するまでの待ち時間を設定します。

- ・ Disabled 設定しない
- ・ 3 Seconds 3 秒
- ・ 6 Seconds 6 秒
- ・ 9 Seconds 9 秒
- ・ 12 Seconds 12 秒
- ・ 15 Seconds 15 秒
- ・ 21 Seconds 21 秒
- ・ 30 Seconds 30 秒

Primary IDE Master,Primary IDE Slave,Secondary IDE Master,Secondary IDE Slave

IDE インターフェース上の装置を設定します。

- ・ Primary IDE Master 第 1 (Primary) IDE インタフェースの Master
- ・ Primary IDE Slave 第 1 (Primary) IDE インタフェースの Slave
- ・ Secondary IDE Master .. 第 2 (Secondary) IDE インタフェースの Master
- ・ Secondary IDE Slave ... 第 2 (Secondary) IDE インタフェースの Slave

本装置は、標準状態でハードディスク装置が [Primary IDE Master] に、CD-ROM 装置が [Secondary IDE Master] に設定されています。

Type

IDE 装置のタイプを設定します。

[+]または[-]キーで設定を切り替えます ([Enter] キーでは切り替えできません)。

- Auto 自動選択
IDE 装置のパラメータが自動設定されます。
- None 使用しない
- ATAPI Removable ATAPI インタフェースのリムーバブル装置
- CD-ROM CD-ROM 装置
- IDE Removable IDE インタフェースのリムーバブル装置
- Other ATAPI 他の ATAPI インタフェース装置
- User IDE 装置
IDE 装置のパラメータを手動で設定することができます。

Maximum Capacity

ディスクの最大記憶容量を表示します。

[Type] で [Auto] または [User] に設定した場合のみ表示されます。

Multi-Sector Transfers

マルチセクタ転送する場合に、1 度に転送するセクタ数を設定します。

[Type] で [None] 以外に設定した場合に表示されます。[Auto] に設定すると、自動検出した値が表示されます。

- Disabled マルチセクタ転送しない
- 2 Sectors 1 度に 2 セクタずつ転送する
- 4 Sectors 1 度に 4 セクタずつ転送する
- 8 Sectors 1 度に 8 セクタずつ転送する
- 16 Sectors 1 度に 16 セクタずつ転送する

LBA Mode Control

LBA (Logical Block Addressing) の有効 / 無効を設定します。

[Type] で [None] 以外に設定した場合に表示されます。[Auto] に設定すると、自動検出した値が表示されます。

- Disabled LBA を無効にする
- Enabled LBA を有効にする

Transfer Mode

データ転送モードを設定します。

[Type] で [None] 以外に設定した場合に表示されます。[Auto] に設定すると、自動検出した値が表示されます (下に行くほど転送速度が早くなります)。

- Standard
- Fast PIO 1
- Fast PIO 2
- Fast PIO 3
- Fast PIO 4
- FPIO 3 / DMA 1
- FPIO 4 / DMA 2

Ultra DMA

Ultra DMA のデータ転送モードを設定します。

[Type] で [None] 以外に設定した場合に表示されます。[Auto] に設定すると、自動検出した値が表示されます。

(Mode0 < Mode1 < Mode2 の順で、転送速度が早くなります)

- Disabled Ultra DMA Mode でデータ転送しない
- Mode 0 Ultra DMA Mode 0 でデータ転送する
- Mode 1 Ultra DMA Mode 1 でデータ転送する
- Mode 2 Ultra DMA Mode 2 でデータ転送する

Floppy Options

フロッピーディスク装置の設定を行います。

Floppy disk controller

フロッピーディスク装置を使用するかどうかを設定をします。

[Auto] を選択すると、自動検出します。

- Disabled 使用しない
- Enabled 使用する
- Auto 自動検出

Diskette A

フロッピーディスク装置のタイプを設定します。

本装置は標準で、ドライブ (装置) A に [1.44/1.25MB 3 1/2"] タイプのフロッピーディスク装置を搭載しています。

- Disabled なし
- 360KB 5 1/4"
- 1.2MB 5 1/4"
- 720KB 3 1/2"
- 1.44/1.25MB 3 1/2" . 3.5 型 3 モード
- 2.88MB 3 1/2"

Floppy Write Protect

フロッピーディスクへの書き込みを禁止するかどうかを設定します。

- Disabled フロッピーディスクへの書き込みを禁止しない
- Enabled フロッピーディスクへの書き込みを禁止する

DMI Event Logging

DMI Event Logging の設定を行います。

Event log capacity

Event log を保存可能かを表示します (表示のみ)

Event log validity

Event log の内容が有効であるかを表示します (表示のみ)

View DMI event log

DMI event log の内容を表示します (表示のみ)

Clear all DMI event logs

再起動したときに、DMI event log の内容をクリアするかどうかを設定します。

- No クリアしない
- Yes クリアする

Event Logging

DMI Event logging を有効にするかどうかを設定します。

- Disabled 無効にする
- Enabled 有効にする

Ecc Event Logging

ECC Event logging を有効にするかどうかを設定します。

- Disabled 無効にする
- Enabled 有効にする

Mark DMI events as read

読み取ったすべての DMI events を記録します。

Video Configuration

ビデオに関する設定を行います。

Palette Snooping

ISA 表示カードで本装置のパレットを使用するかどうかを設定します。

- Disabled 使用しない
- Enabled 使用する

AGP Aperture Size

AGP の処理単位を設定します。

- 64 MB
- 256MB

Default Primary Video Adapter

起動画面を表示する表示カードを選択します。

- PCI
- AGP

Resource Configuration

ISA デバイスの使用するメモリと IRQ (割り込み) を予約します。

C800-CBFF / CC00-CFFF / D000-D3FF / D400-D7FF / D800-DBFF / DC00-DFFF

- Available 予約しない
- Reserved 予約する

IRQ 3 / IRQ 4 / IRQ 5 / IRQ 7 / IRQ 10 / IRQ 11

- Available 予約しない
- Reserved 予約する

4

Security メニューの詳細

セキュリティメニューでは、パソコン本体にパスワードを設定して、他の人がパソコンを使用したり、設定を変えたりできないようにします。

電源投入時にパスワードを正しく入力しないとパソコン本体は使用できません。

パスワードにはユーザパスワード (User Password) と管理者パスワード (Supervisor Password) の 2 つがあります。

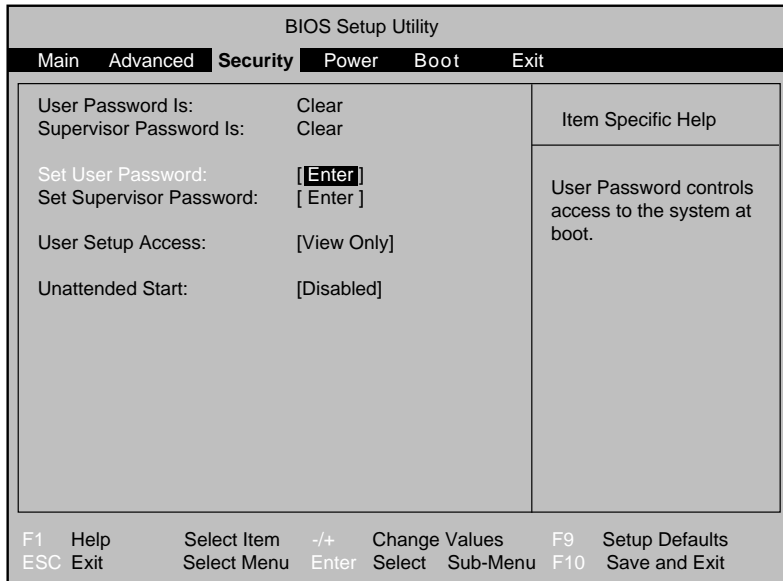
通常はユーザパスワードだけご使用ください。管理者パスワードは主に企業、団体等でパソコン本体を管理運営する場合に利用します。

また起動後に、無断でキーボード、マウスを操作されないためのセキュリティモードの設定をすることができます。



お願い

- ・パスワードを登録する場合は、忘れないように必ずパスワードを控えてください。
- ・パスワードは表示されませんので確認することはできません。
- ・パスワードを忘れてしまった場合は、同梱の『保守サービスのご案内』をご覧のうえお近くのサービスステーションにパスワードの解除をご依頼ください。
パスワードの解除は有償で行なっています。身分証明書 (お客様ご自身を確認できる物) の提示が必要です。



(注) 画面は一例です。

User Password

ユーザパスワードが設定されているかどうかを表示します (表示のみ)。

- ・ Clear ユーザパスワードが設定されていない
- ・ Set ユーザパスワードが設定されている

Supervisor Password

管理者パスワードが設定されているかどうかを表示します (表示のみ)。

- ・ Clear 管理者パスワードが設定されていない
- ・ Set 管理者パスワードが設定されている

Set User Password

ユーザパスワードの設定、変更を行います。

Enter Current Password

現在のパスワードを入力します。パスワードが設定されていない場合は、この項目は表示されません。

Enter New Password

新しいパスワードを入力します。

Confirm New Password

確認のため、パスワードを再入力します。

Set Supervisor Password

管理者パスワードの設定、変更を行います。

Enter Current Password

現在のパスワードを入力します。パスワードが設定されていない場合は、この項目は表示されません。

Enter New Password

新しいパスワードを入力します。

Confirm New Password

確認のため、パスワードを再入力します。

User Setup Access

管理者パスワードを設定した場合にユーザの BIOS セットアップのアクセスを限定します。

- ・ None セットアップにアクセスできない
- ・ View Only セットアップの設定を見ることができる (変更は不可)
- ・ Limited Access 日付、時間、ユーザパスワードの設定のみ変更できる
- ・ Full Access すべてのセットアップの設定を変更できる

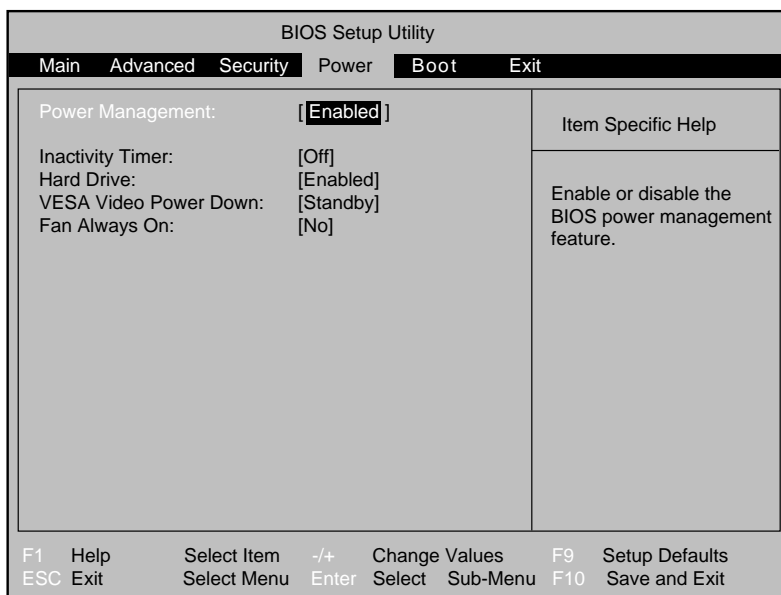
Unattended Start

パスワードを入力する前にシステムを起動するかどうかを設定します。

- ・ Disabled 起動前にパスワードを入力する
- ・ Enabled 起動後にパスワードを入力する

5 Powerメニューの詳細

パソコン本体やディスプレイの省電力機能について設定を行います。



(注) 画面は一例です。

Power Management

パソコン本体の省電力モードを使用するかどうか設定します。

- Disabled 省電力モードを使用しない
- Enabled 省電力モードを使用する



メモ

- Windows NT モデルには省電力機能はありません。
- Windows NT モデルで [Disabled] に設定すると、東芝ソフトウェアパワーオフ機能は使用できません。

Inactivity Timer

自動的にスタンバイモードになるまでの時間を設定します。

- Off スタンバイモードにしない
- 1 minute 1 分後にスタンバイモードにする
- 5 minutes 5 分後にスタンバイモードにする
- 10 minutes 10 分後にスタンバイモードにする
- 20 minutes 20 分後にスタンバイモードにする
- 30 minutes 30 分後にスタンバイモードにする
- 60 minutes 60 分後にスタンバイモードにする
- 120 minutes 120 分後にスタンバイモードにする



メモ

- Windows 98 では、この設定は無効となります。[コントロールパネル]の[電源の管理]で設定してください。
- 工場出荷時には、Windows 98 / 95 モデルは [20minutes] に、Windows NT モデルは [Off] に設定されています。[F9]キーを押して、既定値に戻した場合、Windows 98 / 95 / NT モデルとも [Off] に設定されます。

Hard Drive

ハードディスク装置を省電力モードにするかどうかを設定します。

- Disabled 省電力モードにしない
- Enabled 省電力モードにする



お願い

- Windows NT モデルでは [Enabled] に設定しないでください。
- 工場出荷時には、Windows 98 / 95 モデルは [Enabled] に、Windows NT モデルは [Disabled] に設定されています。[F9] キーを押して、既定値に戻した場合、Windows 98 / 95 / NT モデルとも [Enabled] に設定されます。Windows NT をご使用の方は [Disabled] に設定し直してください。
- LANDesk Client Manager をインストールして使用する場合は、[Disabled] に設定してください。
- [Enabled] に設定していると、ハードディスク装置の起動 / 停止が繰り返され、ハードディスクの寿命を縮めるおそれがあります。

VESA Video Power Down

ディスプレイを省電力モードにするかどうかを設定します。

- Disabled 省電力モードにしない
- Standby スタンバイモードにする
- Suspend サスペンドモードにする
- Sleep スリープモードにする



お願い

- 工場出荷時には、Windows 98 / 95 モデルは [Sleep] に、Windows NT モデルは [Disabled] に設定されています。[F9] キーを押して既定値に戻した場合、Windows 98 / 95 / NT モデルとも [Sleep] に設定されます。Windows NT をご使用の方は、[Disabled] に設定し直してください。
- 本装置では、ディスプレイのスタンバイおよびサスペンド機能はサポートしません。

Fan Always On

省電力モードに入ったときの CPU ファンの動作を制御します。

- No ファンを停止する
- Yes ファンを停止しない

パソコンが起動する際の設定を行います。

BIOS Setup Utility					
Main	Advanced	Security	Power	Boot	Exit
Boot-time Diagnostic screen:	[Disabled]			Item Specific Help	
QuickBoot Mode:	[Enabled]			Display the diagnostic screen during boot.	
Scan User Flash Area	[Disabled]				
After Power Failure:	[Last State]				
On Modem Ring:	[Stay Off]				
On LAN:	[Stay Off]				
On PME:	[Stay Off]				
First Boot Device	[Removable Devices]				
Second Boot Device	[Hard Drive]				
Third Boot Device	[ATAPI CD-ROM Driv]				
Forth Boot Device	[Network Boot]				
Fifth Boot Device	[LANDesk (R) Servi]				
Hard Drive					
Removable Devices					
F1 Help	Select Item	-/+	Change Values	F9	Setup Defaults
ESC Exit	Select Menu	Enter	Select Sub-Menu	F10	Save and Exit

(注) 画面は一例です。

Boot-time Diagnostic screen

パソコンの起動時に「In Touch with Tomorrow TOSHIBA」の画面表示を消すかどうかを設定します。

- Disabled 「In Touch with Tomorrow TOSHIBA」を表示する
- Enabled 「In Touch with Tomorrow TOSHIBA」を表示しない

QuickBoot Mode

起動中にシステムのテストを行うかどうかを設定します。

システムのテストを省略すると、テストを行うときより短時間で起動します。

- Disabled システムのテストを行う
- Enabled システムのテストを行わない

Scan User Flash Area

BIOS 中のユーザエリア (4kB) を有効にするかどうかを設定します。

- Disabled 使用しない
- Enabled 有効にする

After Power Failure

停電後の復帰や電源コードを抜いた後に、再度、電源の供給が再開された場合の電源の動作状態を設定します。

- Stay Off 電源を入れない
- Last State 前回電源が切れる直前の状態にする
- Power On 常に電源を入れる

On Modem Ring

Modem Ring を検出したときに本体の電源が自動的に入るようにするかどうかを設定します。

- Stay Off 電源を入れない
- Power On 電源を入れる



お願い

- 工場出荷時は、[Stay Off] に設定されています。[F9] キーを押して、既定値に戻した場合、[Power On] に設定されますので、[Stay Off] に設定し直してください。

On LAN

LAN を使用して本体の電源が自動的に入るようにするかどうかを設定します。

- Stay Off 電源を入れない
- Power On 電源を入れる



お願い

- 工場出荷時は、[Stay Off] に設定されています。[F9] キーを押して、既定値に戻した場合、[Power On] に設定されますので、[Stay Off] に設定し直してください。

On PME

PCI バスの PME 信号を使用して本体の電源が自動的に入るようにするかどうかを設定します。

- Stay Off 電源を入れない
- Power On 電源を入れる

First、Second、Third、Fourth、Fifth Boot Devices

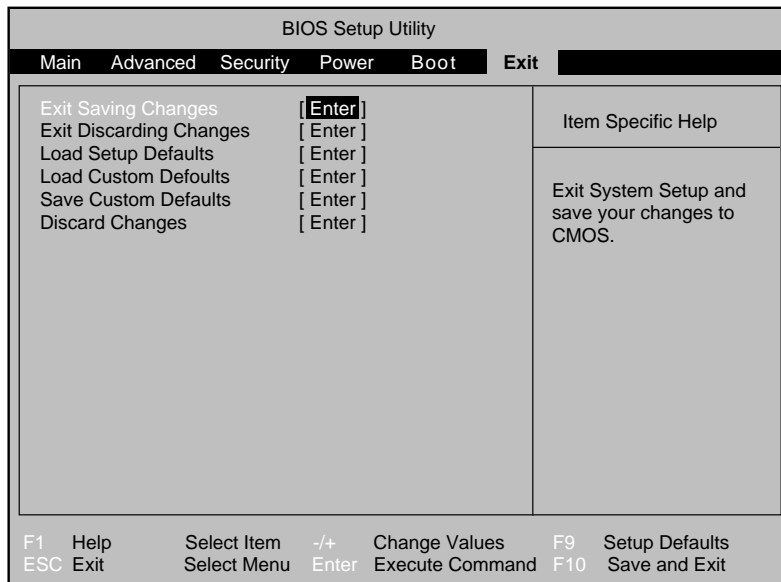
パソコンの電源を入れたときに、システムを読み込む装置の優先順位を設定します。項目を選択し、[+]、[-] キーで順番を入れ替えます。

- Removable Devices フロッピーディスク装置から起動する
- Hard Drive ハードディスク装置から起動する
- ATAPI CD-ROM Drive .. CD-ROM 装置から起動する
- Network Boot ネットワークから起動する
- LANDesk (R) Service Agent
..... ネットワークから起動する

7 Exit メニューの詳細

BIOS セットアップを終了します。

BIOS セットアップの設定を既定値の設定や、変更を加える前の設定に戻す項目があります。



(注) 画面は一例です。

Exit メニューの Exit Saving Changes が **F10** キーを押して、BIOS セットアップ設定を CMOS-RAM に書き込まないと、BIOS セットアップの内容は更新されません。

Exit Saving Changes

変更した設定を、保存 (CMOS-RAM に書き込み) して、BIOS セットアップを終了します。

Exit Discarding Changes

変更した設定を、保存しない (BIOS セットアップを最後に保存したときの状態) で終了します。

Load Setup Defaults

BIOS セットアップの内容を、既定値にします。終了はしません。



お願い

- 工場出荷時の設定は既定値と次の点で異なります。工場出荷時の状態に戻す場合は、1度、**F9**キーで既定値に戻し、工場出荷時の設定値に変更してから保存してください。
 - ・[Main]メニューの [Processor Serial Number] の設定
既定値 : [Enabled] 工場出荷時 : [Disabled]
 - ・[Main]メニューの [ECC Configuration] の設定
既定値 : [Non-ECC] 工場出荷時 : [ECC]
 - ・[Advanced]メニューの [Plug & Play O/S] の設定
既定値 : [No] Windows NT モデルのみ工場出荷時 : [No]
(Windows 98 / 95 モデルの工場出荷時は [Yes] です。)
 - ・[Advanced]メニューの [Num Lock] の設定
既定値 : [Auto] 工場出荷時 : [On]
 - ・[Advanced]メニューの [Peripheral Configuration] の [Parallel Port] の [Mode] の設定
既定値 : [Bi-directional] 工場出荷時 : [ECP]
 - ・[Advanced]メニューの [Peripheral Configuration] の [Audio] の設定
既定値 : [Enabled] 工場出荷時 : [Disabled]
 - ・[Power]メニューの [Inactivity Timer] の設定
既定値 : [Off] Windows 98 / 95 モデルのみ工場出荷時 : [20minutes]
(Windows NT モデルの工場出荷時は [Off] です。)
 - ・[Power]メニューの [Hard Drive] の設定
既定値 : [Enabled] Windows NT モデルの工場出荷時 : [Disabled]
 - ・[Power]メニューの [VESA Video Power Down] の設定
既定値 : [Standby] Windows NT モデルの工場出荷時 : [Disabled]
(Windows 98 / 95 モデルの工場出荷時は [Sleep] です。)
 - ・[Boot]メニューの [On Modem Ring] の設定
既定値 : [Power On] 工場出荷時 : [Stay Off]
 - ・[Boot]メニューの [On LAN] の設定
既定値 : [Power On] 工場出荷時 : [Stay Off]
- ☞ 工場出荷時の設定値について ☞ 「本章 8 工場出荷時の設定値」

Load Custom Defaults

BIOS セットアップの内容を Save Custom Defaults で設定した内容に戻します。

Save Custom Defaults

ユーザが変更したセットアップの内容を Custom Defaults として保存 (CMOS-RAM に書き込み) します。終了はしません。



メモ

- ・内蔵バッテリーがなくなると、システム構成情報 (セットアップでの設定) が失われます。

Discard Changes

変更前の設定 (BIOS セットアップを最後に保存したときの状態) に戻します。終了はしません。

8

工場出荷時の設定値

項目の設定については各メニューの詳細をご覧ください。

Main メニュー

Mainメニューの項目	工場出荷時の設定値
BIOS Version	Auto Configured
Processor Type	Auto Configured
Processor Speed	Auto Configured
Cache RAM	Auto Configured
System Memory	Auto Configured
Memory Bank 0	XXXMB SDRAM
Memory Bank 1	Not Installed
Memory Bank 2	Not Installed
Language	English
Processor Serial Number	Disabled
ECC Configuration	ECC *1
L2 Cache ECC Support	Disabled
System Time	Hour, minute, and second
System Date	Month, day, and year

*1 [F9]キーを押して既定値に戻した場合、[Non-ECC] に設定されます。

Advanced メニュー

Advancedメニューの項目		工場出荷時の設定値
Plug & Play O/S		Yes(Windows 98/95モデル) *1 No(Windows NTモデル)
Reset Configuration Data		No
Num Lock		On *2
Peripheral Configuration	Serial Port A	Auto
	Serial Port B	Auto
	Mode	Normal
	Parallel Port	Auto
	Mode	ECP *3
	Audio	Disabled *4
	LAN	Enabled
	Legacy USB Support	Disabled
IDE Configuration	IDE Controller	Both
	Hard Disk Pre-Delay	Disabled
	Primary IDE Master	Auto Configured
	Primary IDE Slave	Auto Configured
	Secondary IDE Master	Auto Configured
	Secondary IDE Slave	Auto Configured

*1 [F9]キーを押して既定値に戻した場合、[No] に設定されます。

*2 [F9]キーを押して既定値に戻した場合、[Auto] に設定されます。

*3 [F9]キーを押して既定値に戻した場合、[Bi-directional] に設定されます。

*4 [F9]キーを押して既定値に戻した場合、[Enabled] に設定されます。

Advancedメニューの項目		工場出荷時の設定値	
Floppy Options	Floppy Disk Controller	Enabled	
	Diskette A:	1.44 / 1.25 MB, 3.5 inch	
	Floppy Write Protect	Disabled	
DMI Event Logging	Event Log Capacity	Space Available	
	Event Log Validity	Valid	
	Clear All DMI Event Logs	No	
	Event Logging	Enabled	
	ECC Event Logging	Enabled	
Video Configuration	Palette Snooping	Disabled	
	AGP Aperture Size	64 MB	
	Default Primary Video Adapter	AGP	
Resource Configuration	Memory Reservation	C800-CBFF	Available
		CC00-CFFF	Available
		D000-D3FF	Available
		D400-D7FF	Available
		D800-DBFF	Available
		DC00-DFFF	Available
	IRQ Reservation	IRQ 3	Available
		IRQ 4	Available
		IRQ 5	Available
		IRQ 7	Available
		IRQ 10	Available
		IRQ 11	Available

Securityメニュー

Securityメニューの項目	工場出荷時の設定値
User Password is	Clear
Supervisor Password Is	Clear
Set User Password	Enter
Set Supervisor Password	Enter
User Setup Access	Full Access
Unattended Start	Disabled

● Power メニュー

Powerメニューの項目	工場出荷時の設定値
Power Management	Enabled
Inactivity Timer	20 minutes * ¹ (Windows 98 / 95モデル)
	Off (Windows NTモデル)
Hard Drive	Enabled (Windows 98 / 95モデル)
	Disabled * ² (Windows NTモデル)
VESA Video Power Down	Sleep (Windows 98 / 95モデル)
	Disabled * ³ (Windows NTモデル)
Fan Always On	No (Windows 98 / 95モデル)
	Yes (Windows NTモデル)

*1 [F9]キーを押して既定値に戻した場合、[Off] に設定されます。

*2 [F9]キーを押して既定値に戻した場合、[Enabled] に設定されます。

*3 [F9]キーを押して既定値に戻した場合、[Standby] に設定されます。

● Boot メニュー

Bootメニューの項目	工場出荷時の設定値
Boot-time Diagnostic screen	Disabled
QuickBoot Mode	Enabled
Scan User Flash Area	Disabled
After Power Failure	Last State
On Modem Ring	Stay Off * ¹
On LAN	Stay Off * ¹
On PME	Stay Off
First Boot Device	Removable devices
Second Boot Device	Hard Drive
Third Boot Device	ATAPI CD-ROM Drive
Fourth Boot Device	Network boot
Fifth Boot Device	LANDesk Service Agent
Hard Drive	1. FUJITSU MPF3102AT * ²
	2. Bootable Add-in Cards
Removable Devices	1. Legacy Floppy Drives

*1 [F9]キーを押して既定値に戻した場合、[Power On] に設定されます。

*2 実装されているハードディスク装置により、表示は異なります。

Exit メニュー

工場出荷時の設定値、既定値はありません。

6

カスタム・リカバリ CD / リカバリ CD の使い方

Windows 98 / 95 モデルには、カスタム・リカバリ CD が同梱されています。
Windows NT モデルにはリカバリ CD が同梱されています。
本章では、カスタム・リカバリ CD およびリカバリ CD の使い方について説明します。

- 1** カスタム・リカバリ CD / リカバリ CD とは 164
- 2** 標準システムを復元する 165
- 3** 最小構成でシステムを復元する
(Windows 98 / 95) 169
- 4** アプリケーションを再インストールする
(Windows 98 / 95) 171

① カスタム・リカバリCD / リカバリCD とは

① カスタム・リカバリCD とは (Windows 98 / 95)

Windows 98 / 95 には次のカスタム・リカバリCD が同梱されています。

- ・ Product Recovery CD-ROM
- ・ アプリケーション & ドライバCD-ROM

カスタム・リカバリCD は、何らかの障害によってハードディスクが壊れてしまった場合やシステムが正常に動作しなくなってしまった場合にシステムを復元したり、一度削除してしまったアプリケーションを再インストールする場合に使用します。

標準システムを復元する

ご購入時の状態に戻します。プレインストールされているアプリケーションもすべて復元されます。

☞ 「本章 2 標準システムを復元する」

最小構成でシステムを復元する

Windows およびデバイスドライバを復元します。アプリケーションなどはインストールされません。

☞ 「本章 3 最小構成でシステムを復元する」

アプリケーションやドライバごとに再インストールする

プレインストールされているアプリケーションを再インストールできます。

☞ 「本章 4 アプリケーションを再インストールする」



メモ

・ カスタム・リカバリCD は絶対になくさないようにしてください。紛失した場合、再発行することはできません。

② リカバリCD とは (Windows NT)

Windows NT にはリカバリCD (「Product Recovery CD-ROM」) が同梱されています。リカバリCD は何らかの障害によって、ハードディスクが壊れてしまった場合やシステムが正常に動作しなくなってしまった場合にシステムを購入時の状態に復元するために使用します。

☞ 「本章 2 標準システムを復元する」

また、Windows NT には、アプリケーションCD (「Application CD-ROM」) も同梱されています。アプリケーションCD は、本製品で用意されているアプリケーションが入っています。

用意されているアプリケーションなどの一覧および概要、注意事項についてはアプリケーションCD のルートフォルダにある「readme.txt」を、インストール方法についてはアプリケーションCD の各フォルダにあるreadme ファイルをご覧ください。



メモ

・ リカバリCD / アプリケーションCD は絶対になくさないようにしてください。紛失した場合、再発行することはできません。

② 標準システムを復元する

本製品にあらかじめインストールされている Windows やアプリケーションを復元し、ご購入時の状態に戻します。

① 準備

次のものを使用します。

Product Recovery CD-ROM

Microsoft "Certificate of Authenticity" ラベル

(Windows セットアップ時に入力するプロダクトキー (プロダクト ID、Product ID) が印刷されています)

取扱説明書 (本書)



メモ

・ Windows NT の場合、工場出荷時のパーティション設定は、最初の 2GB が FAT (C:) で、残りは空き領域となっています。空き領域を使用するには、ディスクアドミニストレータを使用してください。

② 操作手順

● Windows 98 / 95 の場合



注意

・ 復元する前にハードディスクのフォーマットを行います。ハードディスクの内容はすべて削除されますので、必要なデータがある場合には、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。

ハードウェア構成を変更している場合には、本パソコンをご購入時の状態に戻してから、システムの復元を行なってください。

- 1 パソコンをご購入時の状態に戻す
増設したハードディスクドライブや周辺機器などはすべて取りはずしてください。
- 2 「Product Recovery CD-ROM Disk 1」をセットして、パソコンの電源を切る
- 3 パソコンの電源を入れ、「In Touch with Tomorrow TOSHIBA」の画面が表示されたら、キーボードの **F2** キーを押し、BIOS セットアップを起動する
F2 キーの入力が受け付けられると、画面がステータス表示画面に切り替わり、画面左下に「Entering SETUP...」と表示された後、BIOS セットアップが起動します。
- 4 CD-ROM 装置から起動するように設定を変更する
キーボードの キーで、[Boot] メニューを選択する
キーボードの キーで、[ATAPI CD-ROM Driv] を選択し、 キーを押して、CD-ROM 装置の優先順位を「First Boot Device」に設定する
優先順位が次のようになるように設定します。
First Boot Device [ATAPI CD-ROM Driv]
Second Boot Device [Removable Devices]
Third Boot Device [Hard Drive]



メモ

・ 上記以外の設定は行わないでください。また、操作を誤った場合は、BIOS の設定を既定値に戻してから、再度設定し直すことをおすすめします。

☞ BIOS セットアップの詳細について ☞ 「5 章 BIOS セットアップについて」

5 BIOS セットアップを終了する

キーボードの **F10** キーを押し、[Yes] が選択されていることを確認して **Enter** キーを押します。

システムが再起動し、「復元する構成を選択してください」というメッセージが表示されます。

6 **1** キーを押す

「フォーマットの方法を選択してください」のメッセージが表示されます。

7 **1** キーを押す

クイックフォーマットをする場合は、**2** キーを押してください。

「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」のメッセージが表示されます。

8 **Y** キーを押す

処理を中止する場合は、**N** キーを押してください。

ハードディスクをフォーマットした後に、復元を開始します。

復元が完了すると、終了画面が表示されます。

9 CD を取り出し、何かキーを押す

システムが再起動します。

10 「In Touch with Tomorrow TOSHIBA」画面が表示されたら、キーボードの **F2** キーを押し、BIOS セットアップを起動する

F2 キーの入力が受け付けられると、画面がステータス表示画面に切り替わり、画面左下に「Entering SETUP...」と表示された後、BIOS セットアップが起動します。

11 BIOS の設定を工場出荷時の設定に戻す

キーボードの **Esc** キーで、[Boot] メニューを選択する

キーボードの **Tab** キーで、[ATAPI CD-ROM Driv] を選択し、**+** **-** キーを押して、CD-ROM 装置の優先順位を「Third Boot Device」に設定する
優先順位が次のようになるように設定します。

First Boot Device [Removable Devices]

Second Boot Device [Hard Drive]

Third Boot Device [ATAPI CD-ROM Driv]

12 **F10** キーを押し、[Yes] が選択されていることを確認して **Enter** キーを押す

BIOS の設定が保存され、システムが再起動します。

Windows のセットアップが始まります。

☞ Windows のセットアップの手順について ⇨ 「2 章 2-1 Windows 98 のセットアップ」
⇨ 「2 章 2-2 Windows 95 のセットアップ」

Windows NT の場合



注意 ・復元する前にハードディスクのフォーマットを行います。ハードディスクの内容はすべて削除されますので、必要なデータがある場合には、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。
ハードウェア構成を変更している場合には、本パソコンをご購入時の状態に戻してから、システムの復元を行なってください。



メモ

・Windows NT の場合、工場出荷時のパーティション設定は、最初の 2GB が FAT (C:) で、残りは空き領域となっています。空き領域を使用するには、ディスクアドミニストレータを使用してください。

- 1** パソコンをご購入時の状態に戻す
増設したハードディスクドライブや周辺機器などはすべて取りはずしてください。
- 2** 「Product Recovery CD-ROM Disk 1」をセットして、パソコンの電源を切る
- 3** パソコンの電源を入れ、「In Touch with Tomorrow TOSHIBA」の画面が表示されたら、キーボードの **F2** キーを押し、BIOS セットアップを起動する
- 4** CD-ROM 装置から起動するように設定を変更する
キーボードの キーで、[Boot] メニューを選択する
キーボードの キーで、[ATAPI CD-ROM Driv] を選択し、 キーを押して、CD-ROM 装置の優先順位を「First Boot Device」に設定する
優先順位が次のようになるように設定します。
First Boot Device [ATAPI CD-ROM Driv]
Second Boot Device [Removable Devices]
Third Boot Device [Hard Drive]
- 5** BIOS セットアップを終了する
F10 キーを押すと「Setup Confirmation」メッセージが表示されます。
- 6** [Yes] を選択して、**Enter** キーを押す
「初期インストールソフトウェアの復元」画面が表示されます。
- 7** 復元を行う場合は **Y** キーを、復元を行わない場合は **N** キーを押す
Y キーを押すと、「本当によろしいですか?」というメッセージが表示されます。
- 8** 復元を続行する場合は **Y** キーを、復元を中止する場合は **N** キーを押す
Y キーを押すと、パーティションを作成し、ハードディスクをフォーマットした後に、復元を開始します。
- 9** CD を入れ替えるメッセージが表示された場合、CD を入れ替え、何かキーを押す
処理が続きます。
復元が完了すると、終了画面が表示されます。

10 復元が完了したら、CD を取り出す

11 **Ctrl**+**Alt**+**Delete** キーを押して、パソコンを再起動する

12 「In Touch with Tomorrow TOSHIBA」画面が表示されたら、キーボードの**F2** キーを押して、BIOS セットアップを起動する

F2 キーの入力が受け付けられると、画面がステータス表示画面に切り替わり、画面左下に「Entering SETUP...」と表示された後、BIOS セットアップが起動します。

13 BIOS の設定を工場出荷時の設定に戻す

キーボードの キーで、[Boot] メニューを選択する

キーボードの キーで、[ATAPI CD-ROM Driv] を選択し、 キーを押して、CD-ROM 装置の優先順位を「Third Boot Device」に設定する
優先順位が次のようになるように設定します。

First Boot Device [Removable Devices]

Second Boot Device [Hard Drive]

Third Boot Device [ATAPI CD-ROM Driv]

14 **F10** キーを押して、[Yes] が選択されていることを確認して **Enter** キーを押す

BIOS の設定が保存され、システムが再起動します。

☞ Windows NT のセットアップ手順について ⇨ 「2 章 2-3 Windows NT のセットアップ」

3 最小構成でシステムを復元する(Windows 98/95)

Windows 98 / 95 では、Windows およびデバイスドライバを復元することができます。最小構成でシステムを復元しますので、ご購入時にプレインストールされていたアプリケーションなどはインストールされません。

1 準備

次のものを使用します。

Product Recovery CD-ROM

Microsoft "Certificate of Authenticity" ラベル

(Windows セットアップ時に入力するプロダクトキー (Product ID) が印刷されています)

取扱説明書 (本書)

2 操作手順



注意 ・復元する前にハードディスクのフォーマットを行います。ハードディスクの内容はすべて削除されますので、必要なデータがある場合には、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。
ハードウェア構成を変更している場合には、本パソコンをご購入時の状態に戻してから、システムの復元を行なってください。

- 1 パソコンをご購入時の状態に戻す
増設したハードディスクドライブや周辺機器などはすべて取りはずしてください。
- 2 「Product Recovery CD-ROM Disk 1」をセットして、パソコンの電源を切る
- 3 パソコンの電源を入れ、「In Touch with Tomorrow TOSHIBA」の画面が表示されたら、キーボードの[F2]キーを押し、BIOS セットアップを起動する
[F2]キーの入力が受け付けられると、画面がステータス表示画面に切り替わり、画面左下に「Entering SETUP...」と表示された後、BIOS セットアップが起動します。
- 4 CD-ROM 装置から起動するように設定を変更する
キーボードの キーで、[Boot] メニューを選択する
キーボードの キーで、[ATAPI CD-ROM Driv] を選択し、 キーを押して、CD-ROM 装置の優先順位を「First Boot Device」に設定する
優先順位が次のようになるように設定します。
First Boot Device [ATAPI CD-ROM Driv]
Second Boot Device [Removable Devices]
Third Boot Device [Hard Drive]



メモ

・上記以外の設定は行わないでください。また、操作を誤った場合は、キーボードの[F9]キーを押し、BIOS の設定を既定値に戻してから、再度設定し直すことをおすすめします。
☞ BIOS セットアップの詳細について ⇨ 「5 章 BIOS セットアップについて」

5 BIOS セットアップを終了する

キーボードの **F10** キーを押し、[Yes] が選択されていることを確認して **Enter** キーを押します。

システムが再起動し、「復元する構成を選択してください」というメッセージが表示されます。

6 **2** キーを押す

「フォーマットの方法を選択してください」のメッセージが表示されます。

7 **1** キーを押す

クイックフォーマットをする場合は、**2** キーを押してください。

「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」のメッセージが表示されます。

8 **Y** キーを押す

処理を中止する場合は、**N** キーを押してください。

ハードディスクをフォーマットした後に、復元を開始します。

復元が完了すると、終了画面が表示されます。

9 CD を取り出し、何かキーを押す

システムが再起動します。

10 「In Touch with Tomorrow TOSHIBA」画面が表示されたら、キーボードの **F2** キーを押し、BIOS セットアップを起動する

F2 キーの入力が受け付けられると、画面がステータス表示画面に切り替わり、画面左下に「Entering SETUP...」と表示された後、BIOS セットアップが起動します。

11 BIOS の設定を工場出荷時の設定に戻す

キーボードの **Esc** キーで、[Boot] メニューを選択する

キーボードの **Tab** キーで、[ATAPI CD-ROM Driv] を選択し、**+** **-** キーを押して、CD-ROM 装置の優先順位を「Third Boot Device」に設定する
優先順位が次のようになるように設定します。

First Boot Device [Removable Devices]

Second Boot Device [Hard Drive]

Third Boot Device [ATAPI CD-ROM Driv]

12 **F10** キーを押し、[Yes] が選択されていることを確認して **Enter** キーを押す

BIOS の設定が保存され、システムが再起動します。

Windows のセットアップが始まります。

☞ Windows のセットアップの手順について ⇨ 「2 章 2-1 Windows 98 のセットアップ」
⇨ 「2 章 2-2 Windows 95 のセットアップ」

4 アプリケーションを再インストールする(Windows 98/95)

Windows 98 / 95 にプレインストールされているアプリケーションやドライバを一度削除してしまっても、システムの復元を行うことなく、アプリケーションごとに再インストールすることができます。

再インストールには「アプリケーション & ドライバ CD-ROM」を使用します。

1 操作手順

- 1 「アプリケーション & ドライバ CD-ROM Disk1」をセットする
- 2 表示されるメッセージに従ってインストールを行う

7

困ったときは

本章では、困ったときの対処方法を説明します。
操作中、うまく動作しないときにお読みください。

1	困ったときのQ & A	174
----------	-------------------	-----



1 困ったときのQ & A

実際に本装置を操作しようとしたときに、思ったとおりに操作できなかつたり、何をしたらよいかわからないときがあります。すぐに、故障だ！とあわてる前に、この章をお読みください。

各システムのコマンドを使用しているときにエラーメッセージが表示された場合は、各システムに付属の説明書を参照してください。

アプリケーションソフトをご使用の方は、それぞれのアプリケーションソフトのマニュアルをお読みください。

● 電源が入らない.....	174
● エラーメッセージが表示される	175
● Windows NT でシャットダウン後電源が切れない	175
● 画面の表示がおかしい	176
● キーボードのキーを押しても希望の文字が入力されない	177
● マウスの操作ができない	177
● フロッピーディスク装置が使えない	178
● フロッピーディスクが使えない	178
● アプリケーションソフトが使えない	179
● ハードディスク装置が使えない	180
● CD-ROM 装置が使えない	180
● サウンドが鳴らない	181
● 印刷できない	181
● テレビ、ラジオに障害が出る	182
● 異常や故障の場合	182
● どうしてもわからない場合	182

● 電源が入らない

状 況 ● 本体の電源が入らない

確認 電源コードはパソコン本体の電源コネクタと電源コンセントに差し込まれていますか？

対処 ● 電源コードをパソコン本体の電源コネクタと電源コンセントに差し込んでください。

確認 電源ランプは点灯していますか？

対処 ● 電源スイッチを押してください。

確認 電源コンセントに電源が通じていますか？

対処 ● 電源の通じている電源コンセントに差ししてください。

エラーメッセージが表示される

状況 ●起動時にエラーメッセージが表示される

確認 システムの入っていないフロッピーディスクがセットされていませんか？

対処 ●フロッピーディスクを取り出し、再起動する

確認 電源を切って、また、すぐに入れませんでしたか？

対処 ●電源を切ってから 5 秒以上待って電源を入れてください。

状況 ●アプリケーションソフト使用時にエラーメッセージが表示される

対処 ●アプリケーションソフトのマニュアルをお読みください。

状況 ●「System CMOS checksum bad」というエラーメッセージが表示される

確認 内蔵バッテリーが消耗していませんか？

対処 ●内蔵バッテリーを交換してください。
☞「4章 12 内蔵バッテリーの交換」

Windows NT でシャットダウン後電源が切れない

状況 ●Windows NT でシャットダウン後、パソコン本体の電源が切れない

確認 Windows NT のサービスパックをインストールしましたか？

対処 ●Service Pack5 より新しいサービスパックをインストールした場合、東芝ソフトウェアパワーオフは動作を保証しません。東芝ソフトウェアパワーオフをアンインストールしてから、サービスパックをインストールしてください。

☞ インストールについて

☞ アプリケーション CD-ROM 内の ¥Drivers¥Tspoff の下にある「readme.txt」

確認 市販品の Windows NT を再インストールしましたか？

対処 ●東芝ソフトウェアパワーオフを再度インストールしてください。

☞ インストールについて

☞ アプリケーション CD-ROM 内の ¥Drivers¥Tspoff の下にある「readme.txt」

確認 BIOS セットアップの [Power Management] が「Disabled」になっていませんか？

対処 ●BIOS セットアップの [Power Management] が「Disabled」になっている場合は、東芝ソフトウェアパワーオフは使用できません。「Enabled」に変更してください。

☞「5章 BIOS セットアップについて」

● 画面の表示がおかしい

状況 ● 画面に何も映らない

確認 パソコン本体およびディスプレイの電源は入っていますか？

対処 ● 電源を入れてください。

確認 ディスプレイ用電源コードは接続されていますか？

対処 ● 電源をいったん切ってから、コンセントに差し込んでください。

確認 ディスプレイ用信号ケーブルは正しく接続されていますか？

対処 ● ゆるみがないように正しく接続してください。

確認 表示自動停止機能（スクリーンセーバ）が働いていませんか？（Windows 98 / 95）

対処 ● **Shift** キーを押したり、マウスを動かしたり、電源スイッチを押してください。

確認 USB 機器は接続していますか？

対処 ● 接続されている USB 機器によっては、USB 機器の電源を入れた後、パソコン本体の電源を入れると、パソコン本体が起動しない場合があります。パソコン本体の電源を入れてから USB 機器の電源を入れてください。

確認 ディスプレイの交換または解像度、リフレッシュレートの変更を行いましたか？

対処 ● ご使用のディスプレイの仕様に合った解像度、リフレッシュレートに設定してください。

☞ 「3章 3 ディスプレイ解像度の変更」

また、ディスプレイの仕様に合った解像度、リフレッシュレートに設定しても正しく表示されない場合は、ディスプレイとユーティリティの再インストールを行なってください。

状況 ● 画面の表示が乱れる、あるいは画面のサイズや表示位置などが異常である

確認 ディスプレイの輝度、コントラストなどの調整および、各調整スイッチでの調整は正しくできていますか？

対処 ● 輝度、コントラストおよび各調整スイッチを用いて、正しく調整してください。

☞ 『ディスプレイに付属の説明書』

確認 ディスプレイの交換または解像度、リフレッシュレートの変更を行いましたか？

対処 ●ご使用のディスプレイの仕様に合った解像度、リフレッシュレートに設定してください。
 ☞「3章 3 ディスプレイ解像度の変更」

● キーボードのキーを押しても希望の文字が入力されない

状況 ●キーボードから入力できない

確認 キーボードケーブルのプラグをマウスコネクタに接続していませんか？

対処 ●キーボードケーブルのプラグをキーボードコネクタに接続してください。

状況 ●どのキーを押しても反応しない

対処 ●電源を切って、しばらくしてから電源を入れ直してください。

状況 ●電源を入れ直しても反応しない

対処 ●**Ctrl**キーと**Alt**キーを押したまま、**Delete**キーを押してください。

状況 ●希望の文字が入力できない

確認 CapsLockランプやNumLockランプやScrollLockランプの点灯が希望の状態ですか？

対処 ●**Capslock**キーや**NumLock**キーや**かなひらがな**キーを使って、希望の状態にしてください。

状況 ●半角の「~」(チルダ)が入力できない

対処 ●**Shift** + **^**キーを押してください。

状況 ●「£」「φ」「々」などが入力できない

対処 ●OADG規格の106キーボードの場合、上記の文字は直接入力できません。お使いの日本語入力システムに付属の説明書を参照してください。

● マウスの操作ができない

状況 ●マウスを操作しても反応しない

確認 マウスがキーボードコネクタに接続されていませんか？

対処 ●マウスをマウスコネクタに接続してください。

● フロッピーディスク装置が使えない

状況 ● システムが入ったフロッピーディスクをセットし、**Ctrl** + **Alt** + **Delete** キーを押してもシステムが再起動しない

確認 システムが入っていないフロッピーディスクをセットしていませんか？

対処 ● システムが入ったフロッピーディスクをセットしてください。

確認 フロッピーディスクは正しく挿入されていますか？

対処 ● BIOS セットアップの [Floppy Disk controller] の設定を「Enabled」に変更してください。
☞ 「5章 BIOS セットアップについて」

● 正しく挿入されていない場合があります。フロッピーディスクを一度抜いて、もう一度挿入し直してください。
どうしてもフロッピーディスク装置が使えない場合は、フロッピーディスク装置が故障している場合があるので、お使いの機種を確認後、同梱の『保守サービスのご案内』をご覧のうえお近くのサービスステーションへご連絡ください。

状況 ● FDD アクセスランプが消えない

対処 ● 大量のデータを処理しているときは、ランプが消えるまで待ってください。どうしてもランプが消えないときは、作業を中断（フロッピーディスクを取り出してから電源を切る、または**Ctrl**キーと**Alt**キーを押したまま、**Delete**キーを押す）してください。再起動後、同じ作業を繰り返してみて、それでもFDDアクセスランプが消えない場合は、お買い上げの販売店、もしくは同梱の『保守サービスのご案内』をご覧のうえお近くのサービスステーションへご連絡ください。

● フロッピーディスクが使えない

状況 ● 「書き込み禁止です。」というエラーメッセージが表示された

確認 フロッピーディスクが書き込み禁止状態になっていませんか？

対処 ● フロッピーディスクを取り出して、書き込み可能状態にしてください。
☞ 書き込み可能状態について ☞ 『1章 4-4- 3.5 型フロッピーディスク』

● BIOS セットアップの [Floppy Write Protect] の設定を「Disabled」に設定してください。
☞ 「5章 BIOS セットアップについて」

状況 ●「ファイルが作れません。」というエラーメッセージが表示された

確認 フォルダは作成されていますか？

対処 ●フォルダを作って、そこにファイルを作ってください。

状況 ●「ディスクがいっぱいです。」というエラーメッセージが表示された

確認 ディスクの空き容量が少なくありませんか？

対処 ●不要なファイルを削除して、やり直してください。
●別のフロッピーディスクを使用してください。

状況 ●フロッピーディスク装置にフロッピーディスクを挿入しているのに、「アクセスできません。デバイスの準備ができていません」というメッセージのウィンドウが表示される

対処 ●メッセージウィンドウの[キャンセル]ボタンを閉じたあと、フロッピーディスクをもう一度挿入し直して、再度アクセスを行ってください。
●BIOSセットアップの[Floppy Disk controller]の設定を「Enabled」に設定してください。
☞「5章 BIOSセットアップについて」

状況 ●フロッピーディスク装置に、フロッピーディスクを挿入しているのに、「ドライブAのディスクはフォーマットされていません。今すぐフォーマットしますか？」というメッセージのウィンドウが表示される

対処 ●メッセージウィンドウの[いいえ(N)]ボタンをクリックしてウィンドウを閉じたあと、フロッピーディスクをもう一度挿入し直して、再度アクセスを行ってください。

● アプリケーションソフトが使えない

状況 ●アプリケーションソフトが思うように動かない

確認 システム構成は正しく設定されていますか？

対処 ●アプリケーションソフトのマニュアルを読んで、指示があればシステム構成を変更してください。

状況 ●アプリケーションソフトが動かない

確認 そのアプリケーションソフトはシステムに対応していますか？

対処 ●システムに対応していないアプリケーションソフトは使えません。お使いのシステムに対応しているアプリケーションソフトをお買い求めください。

● ハードディスク装置が使えない

状況 ●データの読み/書きができない



対処

●そのハードディスク装置は故障しているおそれがあるので、お使いの機種を確認後、同梱の『保守サービスのご案内』をご覧のうえ、お近くのサービスステーションへご連絡ください。

● CD-ROM 装置が使えない

状況 ●CD-ROM 装置にアクセスできない

確認

CD-ROM 装置のディスクトレイはきちんとしまっていますか？



対処

●CD-ROM 装置のディスクトレイを正しく格納してください。

確認

CD がきちんとセットされていますか？



対処

●CD-ROM 装置のディスクトレイを引き出し、ラベルが付いている方を上にして、CD をセットしてください。

確認

CD-ROM 装置のディスクトレイに異物はありませんか？



対処

●何かはさまっていたら取り除いてください。

確認

CD が汚れていませんか？

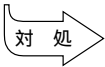


対処

●水か中性洗剤で湿らせた布で、汚れを拭き取ってください。

確認

対応していないフォーマットの CD-ROM をセットしていませんか？



対処

●CD-ROM 装置が対応しているフォーマットの CD-ROM をセットしてください。

☞「1章 4-3 CD-ROM 装置について」

状況 ●CD が取り出せない

確認

電源が切れていませんか？



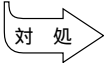
対処

●電源を入れてから、CD-ROM 装置のイジェクトボタンを押してください。

● サウンドが鳴らない

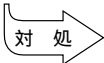
状況 ● 音楽用CDやWAVファイルを再生しても、音が聞えない

確認 ボリュームが下がっていませんか？



● タスクバーのSB Audio PCI 128 ミキサーアイコンをダブルクリックして、音量を調節してください。

確認 スピーカが接続されていますか？

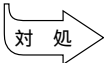


● 本体背面のLINE OUT端子にスピーカ（別売り）を接続してください。
 ☞ スピーカの接続方法 ☞ 「4章 5 スピーカ（別売り）の接続」

● 印刷できない

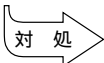
状況 ● プリンタが動作しない

確認 プリンタの電源は入っていますか？



● 本体の電源をいったん切り、プリンタ、本体の順で電源を入れ直してください。

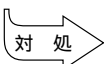
確認 接続ケーブルや接続コネクタが正しく接続されていますか？



● 正しく接続してください。

状況 ● 画面上の表示と異なった印刷物が出てきたり、うまく印刷できない

確認 アプリケーションソフト上でのプリンタの設定条件は、ご使用のプリンタの設定に合っていますか？



● アプリケーションソフト上、またはWindows 98 / 95 / NTのプリンタ設定で正しく設定し直してください。

☞ 『アプリケーションソフトに付属の説明書』

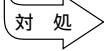
● BIOSセットアップの [Parallel Port] の「Mode」を正しく設定し直してください。

☞ 「5章 BIOSセットアップについて」

● テレビ、ラジオに障害が出る

状況 ● テレビ、ラジオの調子がおかしい

確認 テレビ、ラジオの近くにパソコン本体やディスプレイを置いていませんか？



- テレビ、ラジオの室内アンテナの方向を変えてください。
- テレビ、ラジオに対するパソコン本体やディスプレイの方向を変えてください。
- テレビ、ラジオから離してください。
- テレビ、ラジオの電源コンセントとは別の電源コンセントを使ってください。
- 電源コンセントと機器の電源プラグとの間に市販のフィルタを入れてください。
- 受信機に屋外アンテナを使ってください。
- 平衡フィーダを同軸ケーブルに替えてください。

● 異常や故障の場合

状況 ● 異常な臭いや過熱に気がついた



- 電源を切り、電源コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 次のところに連絡してください。
 - ・お買いあげの販売店それでもわからない場合は、同梱の『保守サービスのご案内』をご覧のうえ、お近くのサービスステーションへご連絡ください。
 - ・使用している機器の名称
 - ・ご購入年月日
 - ・現在の状態できるだけ詳細にご連絡ください。

● どうしてもわからない場合

操作できない原因がどうしてもわからない場合は、別冊の『東芝 PC サービス & サポートのご案内』をご覧のうえ、現在の状態をメモし、お買い上げの販売店または同梱の『保守サービスのご案内』をご覧のうえ、お近くのサービスステーションにご相談ください。

付録

本装置の仕様や、その他の設定方法について説明しています。

1	製品仕様	184
2	各インタフェース	192
3	エラーメッセージ	200
4	その他の設定	202

1 製品仕様

1 仕様概要

機種		EQUIUM 9000シリーズ		
プロセッサ	メインプロセッサ	Intel® Pentium® プロセッサ 700MHz (W/ECC)		
		・CACHE (32kB) ・FPU内蔵・2次CACHE (256kB)		
メモリ	標準メモリ	DIMM 64-768MB-ECC SDRAM (100MHz)		
	増設メモリ	DIMMスロット×3 最大768MB*1 使用可能 DIMM 64MB/128/256MB (ECC) (100MHz)		
	ROM	FLASH MEMORY 4Mbit (書き換え可能)		
表示機能	コントローラ	nVIDIA RIVA TNT2 (AGP-66MHz)		
	ビデオRAM	16MB SDRAM (増設不可)		
	グラフィック表示*2	640 ×480	256・64k・16M色	
		800 ×600	256・64k・16M色	
1024 ×768		256・64k・16M色		
1152 ×864		256・64k・16M色		
1280 ×1024		256・64k・16M色		
1600 ×1200	256・64k・16M色			
通信機能	伝送速度	100Mbps/10Mbps (Intel® 82558 Cont.)		
	適合規格	100BASE-TX/10BASE-T		
サウンド	コントローラ	あり (Ensoniq ES1373)		
補助記憶装置	FDD	標準	3.5型 1台装備 720kB/1.2MB/1.44MB (3モード)	
		増設	3.5型ドライブキャリア	
	HDD	標準	3.5型 15GB / 20GB	
		標準	ATAPI 40倍速 (最大)	
入力装置	キーボード	109キー 分離型		
システム制御		PCI (Peripheral Component Interconnect)		
ファイル スロット	3.5型 ドライブキャリア	3スロット (内2つはFDDとHDDで使用)		
	5型 ファイルスロット	4スロット (内1つはCD-ROM装置で使用)		

*1 標準メモリが64 / 128MB搭載のモデルの場合は、標準メモリも256MBに交換する(256MB×3)ことで対応します。

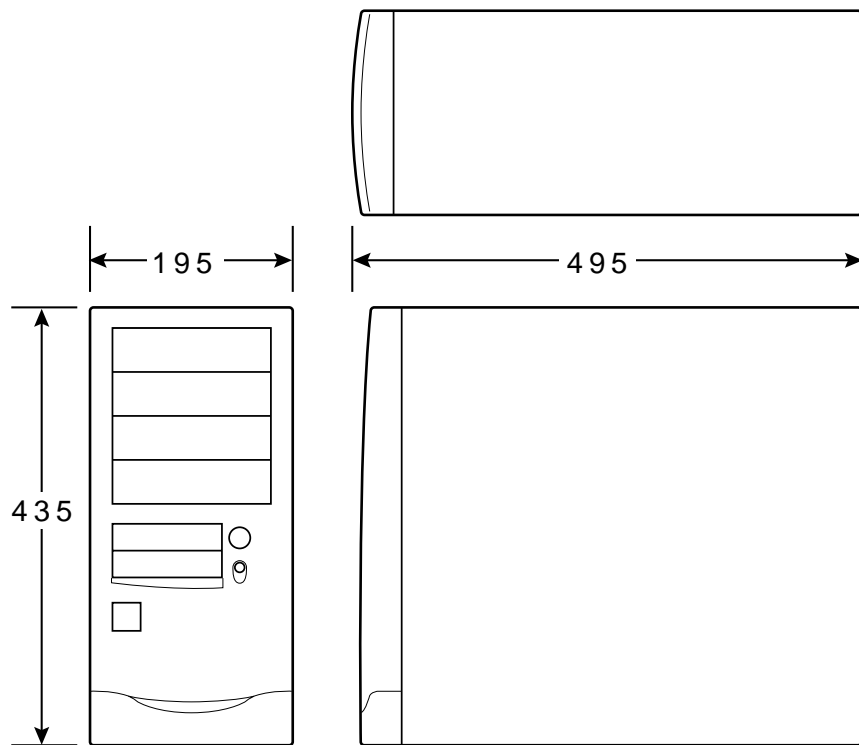
*2 デジタルRGBディスプレイをご使用の場合、最大解像度は1024×768となります。

機種		EQUIUM 9000シリーズ
インタフェース	シリアル	2ポート (D-SUB9ピン、非同期115200bps、16550A互換)
	パラレル	1ポート セントロニクス準拠
	アナログRGB *3	1ポート アナログ RGB (3列タイプ)
	デジタルRGB *3	1ポート デジタル RGB
	PS/2マウス	1ポート
	PS/2キーボード	1ポート
	LAN	1ポート
	オーディオ	LINE IN、LINE OUT、マイク端子、ジョイスティック/MIDI端子
	USB	2ポート *4
拡張スロット	PCI	フルサイズ × 4
	ISA/PCI	フルサイズ × 1
	AGP	ハーフサイズ×1 (表示カードで使用)
内蔵機能	サウンド	Sound Blaster Pro互換
カレンダー機能		日付、時計機能 ボタン型バッテリー使用 電池交換可 寿命約3年
特殊機能	パワーマネージメント	HDD : パワーダウン VIDEO : Sleep
	PnP	Plug & Play対応BIOS
電源	電源条件	100V 50/60Hz
	最大消費電力	160W (電流 5.0A) 高調波対応
周囲温度	動作	10 ~ 35
	非動作	- 20 ~ 60
相対湿度	動作	30%Rh ~ 80%Rh (ただし結露しないこと)
	非動作	10%Rh ~ 90%Rh (ただし結露しないこと)
外形寸法	本体	195 (W) × 495 (D) × 435 (H) mm (脚および突起部含む)
	キーボード	454 (W) × 173 (D) × 42 (H) mm (非チルトアップ時)
質量	本体	約14.5kg
	キーボード	約0.9kg

*3 アナログRGB ディスプレイとデジタルRGB ディスプレイの同時表示はサポートしていません。

*4 Windows NT4.0 をご使用の場合は、サポートされません。

2 外形寸法図



(单位 : mm)

3 メモリマップ

アドレス	容量	定義
00000000	512/640kB	システムボードRAM
000A0000	160kB	ビデオRAM / BIOS
000C8000	96kB	ISAバス (拡張オプションROM) UMBとして使用可能
000E0000	32kB	BIOS リザーブ UMBとして使用可能
000E8000	96kB	システム BIOS
00100000		システムボードRAM 1MB ~ 767MB
30000000		

4 I/Oマップ

アドレス	サイズ	I/O
0000-000F	16バイト	PIIX4E-DMA1
0020-0021	2バイト	PIIX4E-interrupt controller 1
002E-002F	2バイト	I/O controller configuration registers
0040-0043	4バイト	PIIX4E-Counter/Timer 1
0048-004B	4バイト	PIIX4E-Counter/Timer 2
0060	1バイト	Keyboard Controller Byte-Reset IRQ
0061	1バイト	PIIX4E-NMI, Speaker Control
0064	1バイト	Keyboard controller, CMD/STAT Byte
0070,bit7	1ビット	PIIX4E-enable NMI
0070,bits6-0	7ビット	PIIX4E-real time clock, address
0071	1バイト	PIIX4E-real time clock, data
0078	1バイト	Reserved-motherboard configuration
0079	1バイト	Reserved-motherboard configuration
0080-008F	16バイト	PIIX4E-DMA page registers
00A0-00A1	2バイト	PIIX4E-interrupt controller 2
00B2-00B3	2バイト	APM control
00C0-00DE	31バイト	PIIX4E-DMA 2
00F0	1バイト	Reset numeric error
0170-0177	8バイト	Secondary IDE Channel
01F0-01F7	8バイト	Primary IDE Channel
200	1バイト	Game Port
208	1バイト	Game Port
210	1バイト	Game Port
218	1バイト	Game Port
220-22F	8バイト	Audio(Sound Blaster compatible)
0228-022F	8バイト	LPT3
240-24F	16バイト	Audio(Sound Blaster compatible)
0278-027F	8バイト	LPT2
02E8-02EF	8バイト	COM4/Video(8514A)
02F8-02FF	8バイト	COM2
320-327	8バイト	MPU-401(MIDI)
330-337	8バイト	MPU-401(MIDI)
340-347	8バイト	MPU-401(MIDI)
350-357	8バイト	MPU-401(MIDI)
0376	1バイト	Secondary IDE channel command port
0377,bits 6-0	7ビット	Secondary IDE channel status port
0378-037F	8バイト	LPT1
388-38B	6バイト	AdLib(FM synthesizer)
03B4-03B5	2バイト	Canopus SPECTRA Light 1200

アドレス	サイズ	I / O
03BA	1バイト	Canopus SPECTRA Light 1200
03C0-03CA	11バイト	Canopus SPECTRA Light 1200
03CC	1バイト	Canopus SPECTRA Light 1200
03CE-03CF	2バイト	Canopus SPECTRA Light 1200
03D4-03D5	2バイト	Canopus SPECTRA Light 1200
03DA	1バイト	Canopus SPECTRA Light 1200
03E8-03EF	8バイト	COM 3
03F0-03F5	6バイト	Diskette drive Channel1
03F6	1バイト	Primary IDE channel command port
03F7 Write	1バイト	Diskette drive channel 1 command
03F7,bit7	1ビット	Diskette drive disk change channel 1
03F7,bit6-0	7ビット	Primary IDE channel status port
03F8-03FF	8バイト	COM 1
04D0-04D1	2バイト	Edge/level triggered PIC
530-537	8バイト	Windows Sound System
LPT n + 0400h	8バイト	ECP Port , LPT n base address + 400H
0CF8-0CFB*	4バイト	PCI configuration address register
0CF9**	1バイト	Turbo and reset control register
0CFC-0CFF	4バイト	PCI configuration data register
E80-E87	8バイト	Windows Sound System
F40-F47	8バイト	Windows Sound System
FF00-FF07	8バイト	IDE bus master register
FFA0-FFA7	8バイト	Primary bus master IDE registers
FFA8-FFAF	8バイト	Srcondary bus master IDE registers

* DWORD access only

** Byte access only

5 割り込みレベル・DMAチャンネル

次の表は Windows 98 の場合です。

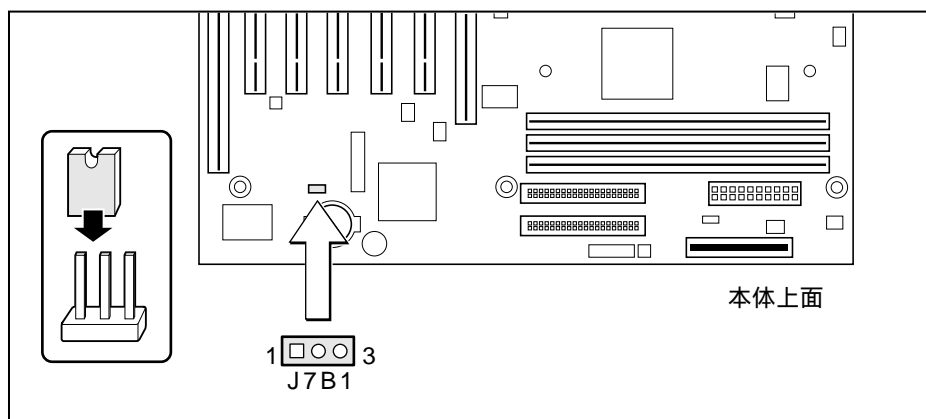
IRQ	Channel
0	Interval Timer
1	Keyboard
2	Cascade interrupt from slave PIC
3	Serial Port 2
4	Serial Port 1
5	Audio
6	Floppy
7	Parallel Port 1
8	Real Time Clock
9	USB
10	PCI LAN
11	VIDEO
12	Mouse Port
13	Math coprocessor
14	Primary IDE
15	Secondary IDE

DMA	幅	Channel
0	8/16ビット	User
1	8/16ビット	Audio
2	8/16ビット	Floppy
3	8/16ビット	User
4	-----	Cascade channel
5	16ビット	User
6	16ビット	User
7	16ビット	User

(出荷時の標準設定)

* ソフトウェアによって変更される場合があります。

6 ジャンパ・スイッチの設定



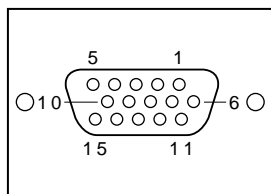
ジャンパ・スイッチ	機能	設定	
J7B1	セットアッププログラムを起動可能にする	1-2	標準モード (既定値)
	BIOSの修復	2-3	保守用*
		none	保守用*

* この設定は保守用なので、変更しないでください。

② 各インタフェース

① アナログRGB インタフェース

(注) I/Oは本装置から見た場合の入出力を示します。



ピン番号	信号名	意味	I/O
1	CRV	赤色ビデオ信号	O
2	CGV	緑色ビデオ信号	O
3	CBV	青色ビデオ信号	O
4	Unused	未使用	
5	GND	信号グランド	
6	GND	信号グランド	
7	GND	信号グランド	
8	GND	信号グランド	
9	Unused	未使用	
10	GND	信号グランド	
11	Unused	未使用	
12	DDCDAT	SDA通信信号	I/O
13	-CHSYNC	水平同期信号(TTL)	O
14	-CVSYNC	垂直同期信号(TTL)	O
15	DDCCLK	SCLデータクロック信号	I/O

② アナログRGB インタフェースの同期信号

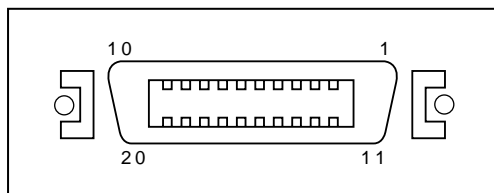
解像度 色数	640×480		800×600		1024×768	
	水平 (kHz)	垂直 (Hz)	水平 (kHz)	垂直 (Hz)	水平 (kHz)	垂直 (Hz)
256 COLOR	31.5-78.6	60-150	37.9-98.3	60-150	48.4-125.7	60-150
High COLOR	31.5-78.6	60-150	37.9-98.3	60-150	48.4-125.7	60-150
FULL COLOR	31.5-78.6	60-150	37.9-98.3	60-150	48.4-125.7	60-150

解像度 色数	1152×864		1280×1024		1600×1200	
	水平 (kHz)	垂直 (Hz)	水平 (kHz)	垂直 (Hz)	水平 (kHz)	垂直 (Hz)
256 COLOR	53.7-111.2	60-120	64.0-108.4	60-100	74.5-107.1	60-85
High COLOR	53.7-111.2	60-120	64.0-108.4	60-100	74.5-107.1	60-85
FULL COLOR	53.7-111.2	60-120	64.0-108.4	60-100	74.5-94.0	60-75

色数 256 COLOR:256色、HIGH COLOR:65,536色、FULL COLOR:1,677万色

(注) Windows NT4.0は垂直周波数150Hzの表示はサポートしていません。

③ デジタルRGB インタフェース

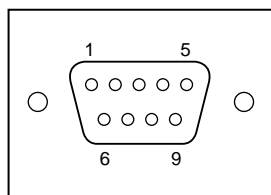


ピン番号	意味	ピン番号	意味
1	緑色データ+	11	赤色データ+
2	緑色データ-	12	赤色データ-
3	緑色データ接地	13	赤色データ接地
4	クロックデータ接地	14	青色データ接地
5	クロックデータ+	15	青色データ+
6	クロックデータ-	16	青色データ-
7	DDCの接地	17	未使用
8	DDCの+5V	18	ホットプラグ信号
9	未使用	19	DDCデータ信号
10	未使用	20	DDCクロック信号

デジタルRGB ディスプレイの最大解像度は1024 × 768 ドットです。

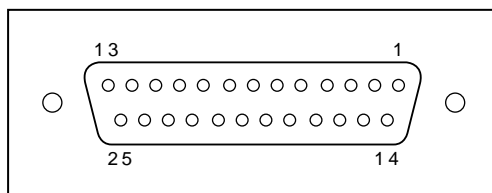
④ シリアルインタフェース (COM1)(COM2)

(注) I/Oは本装置から見た場合の入出力を示します。



ピン番号	信号名	意味	I/O
1	CD	受信キャリア検出	I
2	RXD	受信データ	I
3	TXD	送信データ	O
4	DTR	データ端末レディ	O
5	GND	信号グラウンド	
6	DSR	データセットレディ	I
7	RTS	送信要求	O
8	CTS	送信可	I
9	CI	被呼表示	I

5 パラレルインタフェース

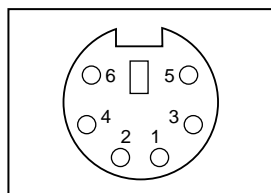


(注) I/Oは本装置から見た場合の入出力を示します。

ピン番号	信号名	意味	I/O
1	-STROBE	PD0～PD7のデータを書き込むための同期用出力信号	O
2～9	PD0～PD7	データの0ビット目から7ビット目の情報を送信する出力信号	O
10	-ACK	プリンタ内のBUSY状態が解除された直後に出る、プリンタ側からの要求パルス	I
11	BUSY	プリンタがデータ受信可能な状態であるかどうかを示すDCレベルの信号	I
12	PE	用紙切れの検出を知らせるDCレベルの信号	I
13	SELECT	プリンタのセレクト/ディセレクト状態を示すDCレベルの信号	I
14	-AUTFD	入出力信号	O
15	-ERROR	プリンタのエラー状態を示すDCレベルの信号	I
16	-PINIT	プリンタ制御部を初期状態にする出力信号	O
17	-SLIN	未使用	I/O
18～25	GND	信号グラウンド	

6 キーボード・マウスインタフェース (PS/2)

(注) I/Oは本装置から見た場合の入出力を示します。



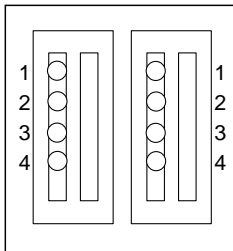
ピン番号	信号名	意味	I/O
1	DATA	データ	I/O
2	Unused	未使用	
3	GND	信号グラウンド	
4	+5V	+5V	
5	CLOCK	クロック	I/O
6	Unused	未使用	

7 MIDI/ ジョイスティックインタフェース

ピン番号	信号名	I/O
1	+5V	
2	Joy Stick But 0	I/O
3	Joy Stick x 1	I/O
4	GND	
5	GND	
6	Joy Stick Y1	I/O
7	Joy Stick But 1	I/O
8	+5V	
9	+5V	
10	Joy Stick But 2	I/O
11	Joy Stick x 2	I/O
12	MIDI OUT	I/O
13	Joy Stick Y2	I/O
14	Joy Stick But 3	I/O
15	MIDI IN	I/O

付
録

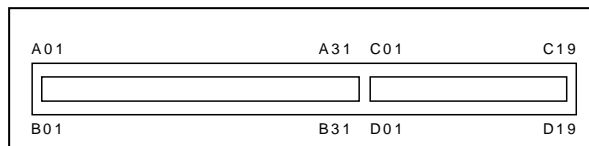
8 USB インタフェース



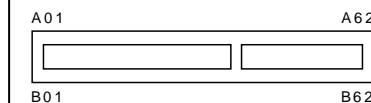
ピン番号	信号名	I/O
1	+5V	
2	-Data	I/O
3	+Data	I/O
4	GND	

9 拡張スロット(ISA タイプカード、PCI タイプカード用)

ISAタイプカード



PCIタイプカード



● 拡張スロット(ISA タイプ)

(注) I/Oは本装置から見た場合の入出力を示します。

ピン番号	信号名	I/O	ピン番号	信号名	I/O
A01	-IOCHCK	I	B01	GND	
A02	SD7	I/O	B02	RSTDRV	O
A03	SD6	I/O	B03	+5V	
A04	SD5	I/O	B04	IRQ9	I
A05	SD4	I/O	B05	-5V	
A06	SD3	I/O	B06	DRQ2	I
A07	SD2	I/O	B07	-12V	
A08	SD1	I/O	B08	-N0WS	I
A09	SD0	I/O	B09	+12V	
A10	IOCHRY	I	B10	GND	
A11	AEN	O	B11	-SMEMW	O
A12	SA19	I/O	B12	-SMEMR	O
A13	SA18	I/O	B13	-IOW	I/O
A14	SA17	I/O	B14	-IOR	I/O
A15	SA16	I/O	B15	-DACK3	O
A16	SA15	I/O	B16	DRQ3	I
A17	SA14	I/O	B17	-DACK1	O
A18	SA13	I/O	B18	DRQ1	I
A19	SA12	I/O	B19	-REFRSH	O
A20	SA11	I/O	B20	BCLK	O
A21	SA10	I/O	B21	IRQ7	I
A22	SA9	I/O	B22	IRQ6	I
A23	SA8	I/O	B23	IRQ5	I
A24	SA7	I/O	B24	IRQ4	I
A25	SA6	I/O	B25	IRQ3	I
A26	SA5	I/O	B26	-DACK2	O
A27	SA4	I/O	B27	TC	
A28	SA3	I/O	B28	BALE	O
A29	SA2	I/O	B29	+5V	
A30	SA1	I/O	B30	OSC	O
A31	SA0	I/O	B31	GND	
C01	-SBHE	I/O	D01	-MEMCS16	I
C02	LA23	I/O	D02	-IOCS16	I
C03	LA22	I/O	D03	IRQ10	I
C04	LA21	I/O	D04	IRQ11	I
C05	LA20	I/O	D05	IRQ12	I

ピン番号	信号名	I/O	ピン番号	信号名	I/O
C06	LA19	I/O	D06	IRQ15	I
C07	LA18	I/O	D07	IRQ14	I
C08	LA17	I/O	D08	-DACK0	O
C09	-MEMR	I/O	D09	DRQ0	I
C10	-MEMW	I/O	D10	-DACK5	O
C11	SD8	I/O	D11	DRQ5	I
C12	SD9	I/O	D12	-DACK6	O
C13	SD10	I/O	D13	DRQ6	I
C14	SD11	I/O	D14	-DACK7	O
C15	SD12	I/O	D15	DRQ7	I
C16	SD13	I/O	D16	+5V	
C17	SD14	I/O	D17	-MASTER	I
C18	SD15	I/O	D18	GND	

● 拡張スロット(PCIタイプ)

(注) I/Oは本装置から見た場合の入出力を示します。

ピン番号	5Vシステム環境			
	サイドB	I/O	サイドA	I/O
1	-12V		TRST#	I
2	TCK	I	+12V	
3	GND		TMS	I
4	TDO	O	TDI	I
5	+5V		+5V	
6	+5V		INTA#	I/O
7	INTB#	I/O	INTC#	I/O
8	INTD#	I/O	+5V	
9	PRSNT1#	O	予約	
10	予約		+5V(I/O)	
11	PRSNT2#	O	予約	
12	GND		GND	
13	GND		GND	
14	予約		予約	
15	GND		RST	I
16	CLK	I	+5V(I/O)	
17	GND		GNT#	I/O

(注) I/Oは本装置から見た場合の入出力を示します。

ピン番号	5Vシステム環境			
	サイドB	I/O	サイドA	I/O
18	REQ#	I/O	GND	
19	+5V(I/O)		予約	
20	AD〔31〕	I/O	AD〔30〕	I/O
21	AD〔29〕	I/O	+3.3V	
22	GND		AD〔28〕	I/O
23	AD〔27〕	I/O	AD〔26〕	I/O
24	AD〔25〕	I/O	GND	
25	+3.3V		AD〔24〕	I/O
26	C/BE〔3〕#	I/O	IDSEL	I
27	AD〔23〕	I/O	+3.3V	
28	GND		AD〔22〕	I/O
29	AD〔21〕	I/O	AD〔20〕	I/O
30	AD〔19〕	I/O	GND	
31	+3.3V		AD〔18〕	I/O
32	AD〔17〕	I/O	AD〔16〕	I/O
33	C/BE〔2〕#	I/O	+3.3V	
34	GND		FRAME#	I/O
35	IRDY#	I/O	GND	
36	+3.3V		TRDY#	I/O
37	DEVSEL#	I/O	GND	
38	GND		STOP#	I/O
39	LOCK#	I/O	+3.3V	
40	PERR#	I/O	SDONE	I/O
41	+3.3V		SBO#	I/O
42	SERR#	I/O	GND	I/O
43	+3.3V		PAR	I/O
44	C/BE〔1〕#	I/O	AD〔15〕	
45	AD〔14〕	I/O	+3.3V	
46	GND		AD〔13〕	I/O
47	AD〔12〕	I/O	AD〔11〕	I/O
48	AD〔10〕	I/O	GND	
49	GND		AD〔09〕	I/O
50	コネクタ・キー			
51	コネクタ・キー			
52	AD〔08〕	I/O	C/BE〔0〕#	I/O
53	AD〔07〕	I/O	+3.3V	
54	+3.3V		AD〔06〕	I/O
55	AD〔05〕	I/O	AD〔04〕	I/O

(注) I/Oは本装置から見た場合の入出力を示します。

ピン番号	5Vシステム環境			
	サイドB	I/O	サイドA	I/O
56	AD〔03〕	I/O	GND	
57	GND		AD〔02〕	I/O
58	AD〔01〕	I/O	AD〔00〕	I/O
59	+5V(I/O)		+5V(I/O)	
60	ACK64#	I/O	REQ64#	I/O
61	+5V		+5V	
62	+5V		+5V	

● 拡張スロットの電流容量

拡張スロット全体（オプションカード、増設ハードディスク装置、5型装置、3.5型装置のすべてを含む）で使用可能な電流容量は次のとおりです。

増設装置取り付けの際は、次の制限を必ず守ってください。

増設装置全体の合計の許容電流値

電流容量	拡張スロットの合計
+5V	14A以下
+12V	3A以下
-12V	0.3A以下
-5V	0.3A以下
+3.3V	10A以下



注意 ・ +5Vと+3.3Vの合計は80W以下になるようにしてください。

<計算式> (+5Vの消費電流) × 5 + (+3.3Vの消費電流) × 3.3 ≤ 80

3 エラーメッセージ

この項目では、システム起動時に発生する可能性のあるブザー類およびエラーメッセージを説明します。



注意 ・これらのエラーが繰り返し発生する場合は、エラーメッセージの内容と現在の本体の設定環境を具体的に記録し、『保守サービスのご案内』をご覧ください。すぐにサービスステーションまでお問い合わせください。

1 ブザー音の回数

ブザー音の鳴り方	エラーメッセージ
1-2-2-3	BIOS ROM checksum
1-3-1-1	Test DRAM refresh
1-3-1-3	Test keyboard controller
1-3-3-1	Autosize DRAM
1-3-3-2	Initialize POST memory manager
1-3-3-3	Clear 512 KB base RAM
1-3-4-1	RAM failure on address line xxxx
1-3-4-3	RAM failure on data bits xxxx of low byte of memory bus
1-4-1-1	RAM failure on data bits xxxx of high byte of memory bus
2-1-2-2	POST device initialization
2-1-2-3	Check ROM copyright notice
2-2-3-1	Test for unexpected interrupts
2-2-4-1	Test RAM between 512 and 640 KB
1-2	Search for option ROMs

2 エラーメッセージ

エラーメッセージ	説明
Diskette drive A error	AドライブにPOST disketteテストでエラーが発見されました。 BIOSセットアップでフロッピーディスク装置が正しく定義されているか、またはフロッピーディスク装置が正しく接続されているかを確認してください。
Extended RAM Failed at offset: nnnn	拡張メモリが動作していないかoffset:nnnnで正しく構成されていません。
Failing Bits: nnnn	メモリテストでエラーが発見されました。
Fixed Disk 0 Failure or Fixed Disk 1 Failure or Fixed Disk Controller Failure	ハードディスク装置が動作していないか、正しく設定されていません。 BIOSセットアップでハードディスク装置が正しく定義されているか、またはハードディスク装置が正しく接続されているかを確認してください。

エラーメッセージ	説明
Incorrect Drive A type - run SETUP	Aドライブ（フロッピーディスク装置）がBIOSセットアップで正しく設定されていません。
Invalid NVRAM media type	NVRAM（CMOS）アクセスの問題です。
Keyboard controller error	キーボードコントローラのテストでエラーが発見されました。キーボードを取り換えてください。
Keyboard error	キーボードが動作していません。
Keyboard error nn	BIOSが押したままのキーを発見し、押したままのキーのスキャンコードを表示しています。
Keyboard locked - Unlock key switch	キーボードロックを解除して、システムを起動します。
Monitor type does not match CMOS - Run SETUP	BIOSセットアップでモニタタイプが正しく設定されていません。
Operating system not found	OSがAドライブまたはCドライブに存在しません。BIOSセットアップを実行し、正しく動作できるフロッピーディスクがセットされているかを確認してください。
Parity Check 1	システムバスでパリティエラーが見つかりました。
Parity Check 2	I/Oバスでパリティエラーが見つかりました。
Press <F1> to resume, <F2> to Setup	復旧可能なエラーの場合に表示されます。起動するには[F1]キーを、BIOSセットアップを起動し、設定を変更するには[F2]キーを押してください。
Real - time clock error	BIOSテストのReal-time Clockでエラーが発見されました。
Shadow RAM Failed at offset: nnnn	Shadow RAMでエラーが発見されました。
System battery is dead - Replace and run SETUP	CMOSクロックバッテリーが消耗しています。バッテリーを交換し、BIOSセットアップで再設定してください。
System cache error - Cache disabled	BIOSテストでキャッシュエラーが発見されました。
System CMOS checksum bad - run SETUP	システムCMOS RAMでエラーが発見されました。
System RAM Failed at offset: nnnn	システムRAMでエラーが発見されました。
System timer error	タイマーテストでエラーが発見されました。

4 その他の設定

1 Windows 95 モデル

● Internet Explorer 3.02 を 4.01 SP1 にバージョンアップする場合

Windows 95 モデルには、Microsoft® Internet Explorer Ver3.02 があらかじめインストールされています。Microsoft® Internet Explorer Ver4.01 SP1 にバージョンアップするときは、次の作業を行なってください。

1 デスクトップの「Internet Explorer 4.01 セットアップ」アイコンをダブルクリックする

[Internet Explorer 4.01 アクティブセットアップ] 画面が表示されます。画面の表示に従って、セットアップを行なってください。



・バージョンアップを行う前に、[スタート]メニューの[はじめに]にある[インターネットについて]を読むことをおすすめします。

2 Windows 98 / 95 モデル

● DDC 機能について / モニタの変更方法

EQUIUM シリーズでは、VESA (Video Electronics Standard Association) 準拠の DDC (Display Data Channel) 機能を持っており、プラグアンドプレイに対応しています。DDC 機能とは、モニタとの通信機能のことです。

ただし、CRT ディスプレイが対応していない場合は、DDC 機能は使用できません。ディスプレイに付属のマニュアルでご確認ください。

DDC 機能を持っていないディスプレイを接続したとき、Windows 98 / 95 のセットアップ直後は、ディスプレイの設定が「Super VGA 1024 × 768」になっています。これは一般的な設定ですので、ご使用のディスプレイにあう設定に変更することをおすすめします。



お願い

・「東芝 21 型 SVGA カラーディスプレイ 2 (CRT21002)」は DDC 機能に対応した CRT ディスプレイですが、正しく動作しない場合があります。その場合は、次にあげる手順に従い、設定してください。

● Windows 98 の場合

- 1 [スタート]メニューから[設定]-[コントロールパネル]をクリックする
- 2 [画面]アイコンをダブルクリックする
「画面のプロパティ」が起動します。
- 3 [設定]タブの[詳細]ボタンをクリックする
- 4 [モニタ]タブをクリックする
- 5 [変更]ボタンをクリックする
[デバイスの選択]画面が表示されます。
- 6 使用するディスプレイの[製造元]および[モデル]を選択し、[OK]ボタンをクリックする
「東芝製 21 型 SVGA カラーディスプレイ 2」をご使用の場合は、次のように選択してください。
[製造元] TOSHIBA [モデル] Toshiba CRT21002
- 7 [閉じる]ボタンをクリックする
- 8 [OK]ボタンをクリックする
「画面のプロパティ」が終了します。

● Windows 95 の場合

- 1 [スタート]メニューから[設定]-[コントロールパネル]をクリックする
- 2 [画面]アイコンをダブルクリックする
「画面のプロパティ」が起動します。
- 3 [ディスプレイの詳細]タブの[詳細プロパティ]ボタンをクリックする
- 4 [モニター]タブをクリックする
- 5 [変更]ボタンをクリックする
[デバイスの選択]画面が表示されます。
- 6 使用するディスプレイの[製造元]および[モデル]を選択し、[OK]ボタンをクリックする
「東芝製 21 型 SVGA カラーディスプレイ 2」をご使用の場合は、次のように選択してください。
[製造元] TOSHIBA [モデル] Toshiba CRT21002
- 7 [閉じる]ボタンをクリックする
- 8 [OK]ボタンをクリックする
「画面のプロパティ」が終了します。

● DirectX について

● DirectX のインストールについて

ゲームなどをインストールするときに、DirectX のインストールをうながすウィンドウが表示される場合がありますが、ドライバを置き換えないことをおすすめします。インストールをする場合は、内容をよく理解した上で、お客様の責任においてインストールを行なってください。本装置にはすでに DirectX6 ドライバがインストールされております。



メモ

・DirectX6 を置き換えてしまった場合、他のアプリケーションソフトが正常に動作しない場合があります。

● ディスプレイアダプタの設定について

ゲームをインストールした後に、次の「ディスプレイアダプタの変更方法」の手順 1 ~ 4 を実行し、「詳細」(Windows 95 の場合は「ディスプレイの詳細プロパティ」)を参照して、ディスプレイアダプタの設定内容を確認してください。工場出荷時の設定は次のとおりです。

ディスプレイアダプタ : Canopus SPECTRA Light 1200

ディスプレイアダプタの設定が異なる場合は、「ディスプレイアダプタの変更方法」の手順 1 ~ 9 を実行し、工場出荷時の設定に戻してください。



メモ

・ディスプレイアダプタが変更された状態のままでは、他のアプリケーションソフトが正常に動作しない場合があります。

● ディスプレイアダプタの変更方法

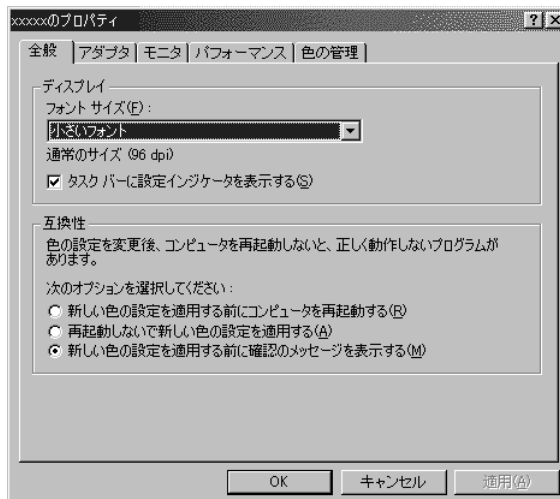
画面は Windows 98 を例にして説明しています。Windows 95 の場合は異なります。

- 1 デスクトップ上の、アイコンなどが何も表示されていないところで、マウスの右ボタンをクリックし、[プロパティ (R)] をクリックする
[画面のプロパティ] のウィンドウが表示されます。
- 2 [設定] (Windows 95 の場合は [ディスプレイの詳細]) タブをクリックする



(注) 画面は一例です。

- 3 [詳細] (Windows 95 の場合は [詳細プロパティ(A)]) ボタンをクリックする
[XXXXXX (ディスプレイアダプタ名) のプロパティ] または [ディスプレイの詳細プロパティ] ウィンドウが表示されます。



(注) 画面は一例です。

- 4** [アダプタ] タブをクリックする
Canopus SPECTRA Light 1200 が表示されている場合は、以降の作業は必要ありません。[キャンセル] ボタンをクリックして作業を終了します。
- 5** [変更(C)] ボタンをクリックする
Windows 98 では [デバイスドライバの更新ウィザード] が表示されます。
ウィザードの指示に従って変更してください。

Windows 95 の場合は、[変更] ボタンをクリックした後、さらに次の手順で変更してください。
- 6** [モデル] 一覧の「Canopus SPECTRA Light 1200」上でダブルクリックする
- 7** [ディスプレイの詳細プロパティ] ウィンドウが表示されるので、[閉じる] をクリックする
- 8** [画面のプロパティ] ウィンドウが表示されるので、[閉じる] をクリックする
システムを再起動するか、メッセージが表示されます。
- 9** [はい(Y)] をクリックする
システムが再起動し、ディスプレイアダプタの変更が反映されます。

3 Windows NT モデル

● Service Pack5 のインストールについて

LAN などのドライバ / プロトコルを追加 / 変更した場合には、Service Pack5 を再度インストールしなければなりません。

インストールの際は以下の手順に従ってください。

- 1 デスクトップ上の [Service Pack5 セットアップ] アイコンをダブルクリックする

Service Pack5 のインストールが始まります。画面の指示に従ってインストールを行なってください。

